

食品安全委員会が行う
リスクコミュニケーションに関する意識調査
報告書

令和3年3月
内閣府食品安全委員会事務局

目次

1. 調査の目的	1
1-1 調査の背景	1
1-2 調査の目的	1
1-3 調査の設計	1
2. 調査の概要	3
2-1 専門家の意見聴取	3
2-2 既存の関連調査の文献整理	3
2-3 フォーカスグループインタビュー	3
2-4 インターネットアンケート	4
3. 専門家の意見聴取	7
3-1 意見聴取の目的	7
3-2 専門家の選定	7
3-3 意見聴取の内容	7
4. 既存の関連調査の文献整理	9
4-1 文献整理の目的	9
4-2 国際機関における関連調査	9
4-3 国内の類似調査	9
5. フォーカスグループインタビューの実施	11
5-1 FGI の目的	11
5-2 FGI の調査設計	11
5-3 FGI の結果	22
6. インターネットアンケートの実施	24
6-1 アンケートの調査設計	24
6-2 アンケートの結果	27
7. 現状と課題の整理	163
7-1 ハザード別不安度の経年比較	163
7-2 各種調査結果による現状と課題	167
7-3 より効果的なリスクコミュニケーションのあり方	170
7-4 より効果的な継続的調査のあり方	172
アンケート調査画面	資料編 1
FGI プロフィールシート	資料編 25

1. 調査の目的

1-1 調査の背景

食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションは、消費者の食品安全に関連する様々な意思決定が、偏った情報に左右されず、科学的根拠に基づき合理的に行われるよう支援すること、また、食品安全に関する様々な関係者が、ともに考え、相互に立場を理解し、信頼を確保することを目標としている¹。このためには、食品安全委員会が、その役割とともに認知されていることが重要な課題となる。

1-2 調査の目的

本事業では、上述したリスクコミュニケーションの目標の達成に向けて、現状と課題を整理し、より効果的なリスクコミュニケーション手法を検討する際の基礎とするため、一般消費者を対象に、食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査を行った。今回設定されたアンケート項目をもって、今後、同様の意識調査を定期的実施し、経年的な把握を行うための基礎資料とすることも、検討対象とした。

1-3 調査の設計

本事業では、以下の項目を把握するための調査設計を行った。

- 消費者の意思決定がどのように行われているかの把握
 - 食品の安全性に関するハザードごとのリスク認知状況、その背景として食品の安全性の確保に関する仕組みの認知状況や、各種情報源への信頼状況等を調査
- 関係者相互の信頼状況の把握
 - 食品安全委員会の認知度等を調査

具体的には、「消費者の意思決定がどのように行われているかの把握」及び「関係者相互の信頼状況の把握」を行った。前者では、食品の安全性に関するハザードごとのリスク認知状況、その背景として食品の安全性の確保に関する仕組みの認知状況や、各種情報源への信頼状況等を調査した。後者では、食品安全委員会の認知度等を調査した。手法としては、これらを調査するアンケートの実施に先立って、関連文献調査やフォーカスグループインタビュー等を実施し、そこで得られた知見を踏まえて、アンケートでの質問項目を設定した。

¹ 「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方について」報告書（食品安全委員会企画等専門調査会、平成27年度）

本事業の業務フローは、下図のとおり。

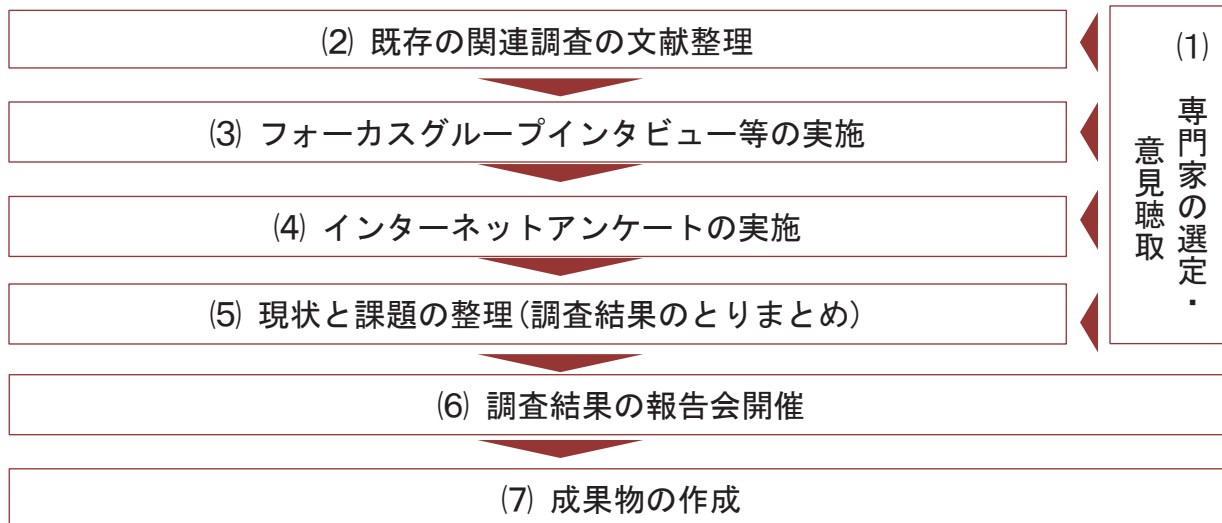


図 業務フロー

2. 調査の概要

2-1 専門家の意見聴取

本事業の調査方針等について助言を得るため、認知心理学や社会心理学等の専門家のうち食品安全に係るリスクコミュニケーションに関与された経験を有する方、あるいは日頃よりリスクコミュニケーションそのものを主たる業務とされている方を中心候補をリストアップし、選定を行った。

選定した3名の専門家に対し、関連調査等の文献整理、フォーカスグループインタビューの実施方針（対象者・インタビュアーの選定や質問項目、インタビューの進め方等）の作成、インターネットアンケート項目の作成、調査結果を踏まえた現状と課題の整理の各段階で、意見を聴取した。

2-2 既存の関連調査の文献整理

インターネットアンケートの調査設計の参考とするため、国内外の既存の関連調査等の収集を行った。

国際機関における関連調査として、欧州食品安全機関（EFSA）の「Eurobarometer survey」（2019年、2010年及び2005年調査の結果）を中心に、米国食品医薬品局（FDA）、英国食品基準庁（FSA）、オーストラリア・ニュージーランド食品安全局（FSANZ）、ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）等が実施した調査を参照し、設問文や選択肢等の情報を収集した。

国内における食品安全に関する類似調査についても文献収集を行った。特に、食品安全委員会事務局が平成20年度に実施した「リスク認知の形成要因等に関する調査」については、今後の定期的な調査の実施と経年把握を行う観点から調査項目等を参照した。

2-3 フォーカスグループインタビュー

（1）調査設計

インターネットアンケートにおいて設計している調査項目の方向性の確認や設問、選択肢等の妥当性の検証等を行うため、フォーカスグループインタビュー（以下「FGI」という。）を実施し、定性的な情報収集を行った。

性別、年代、子ども有無等の要因を考慮したグループ設計を行い、首都圏4グループ、北海道札幌市等1グループ、福岡県福岡市等1グループの計6グループで調査を実施した。なお、首都圏のグループは会場形式で、それ以外はオンライン形式で行った。

（2）調査結果の概要

調査結果の概要は、以下のとおり。

- 食品に対する関心・関与としては、各グループに共通する項目として、「産地」、「鮮度」、「食材の価格」、「食品添加物」、「農薬」等が挙げられた。
- 食品に関する情報源としては、「テレビ」、「インターネット」、「新聞、雑誌、書籍」は全グループで挙げられた。そのうち、信頼できる情報源と

しては、全グループで「テレビ」が挙げられた。「専門家」も3つのグループで挙げられた。

- 食品や日頃の食生活について「気になること」を聴取したところ、最も気になることとして、「食品添加物」、「健康食品」（主に効果効能）等が挙げられた。一方、最も気にならないこととしては、「健康食品」（主に安全性）、「過剰摂取」等が挙げられた。

2-4 インターネットアンケート

既存の関連調査の文献整理、FGI 及びそれらに対する専門家の意見聴取を経て、インターネットアンケートを実施した。

（1）調査設計

全国 20～69 歳男女のインターネットモニターを対象とした。サンプルサイズは 6,000 サンプル規模とし、平成 27 年国勢調査をベースとして性別、年代別及び地域別で人口構成比に準拠した割当抽出を行った。

（2）調査結果の概要

調査結果の概要は、以下のとおり。

- 食品購入時重視点
 - 「安全性」、「鮮度」、「産地」は、男性より女性、若年層より高年層において重視する傾向
 - 「栄養素含有量」、「生産者・食品メーカー」、「季節感・旬」も、男性より女性、若年層より高年層において重視する傾向。全体的に重視度が低い
 - 「おいしさ」は、やや女性が高い傾向。全体的に重視度が高い
 - 「価格」、「簡便性」、「量・大きさ」は、若年層において重視する傾向
- 食品分野におけるハザード別不安度
 - 「食中毒」が最も高く、「汚染物質」、「BSE（狂牛病）」等と続く。「健康食品・サプリメント」は低い
 - いずれの項目も、男性より女性の、若年層より高年層の不安度が高い傾向
- 食品分野のハザード別不安のきっかけ
 - 「食中毒」、「汚染物質」、「BSE（狂牛病）」のほか「放射性物質」では、「事件・事故等のニュース・報道を見て」や「テレビ・インターネット上の動画などで衝撃的な映像を見て」が高い
 - 「食中毒」や「健康食品・サプリメント」では、不安のきっかけとして、自分自身や身の回りの人の健康被害も挙げられている
 - 「食品添加物」や「遺伝子組換え」では、食品のパッケージの「無添加」や「遺伝子組換えでない」との表示を見て、がそれぞれ 2 割超
- 食品分野のハザード別イメージ
 - 「摂取するたびに人体に蓄積されている」は、「残留農薬」、「放射性物質」、「食品添加物」で 2 割前後

- 「食中毒」、「放射性物質」、「BSE（狂牛病）」では「事件・事故が発生したときの被害が大きい」が、「食品添加物」、「遺伝子組換え」では「人工的・人為的である」が2割超
- 一方、「残留農薬」、「食品添加物」では、「健康影響リスクをゼロにすることはできない」が15%程度と比較的高い
- 食品分野及びそれ以外の分野におけるハザード別不安度
 - 「感染症」が高く、次いで「自然災害」、「経済不安」と続く
 - 「食品安全」は、他の分野の中で不安度は最も低い
- 毎日のように利用するメディア・サービス
 - 「テレビ」が高く、「Web ニュース」、「YouTube」、「新聞」と続く
 - 情報収集積極度が「気になったときに自分で情報を収集している」や「自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にすることがある」では「テレビ」等が高い
 - 一方、「自分から積極的に情報を収集している」では、「YouTube」や「Twitter」等多くのメディア・サービスが選択されている
- 食品安全に関する情報源・信頼できる情報源
 - 「テレビ」、「新聞」、「Web の記事（企業や団体など）」と続き、信頼できる情報源としても同様の順となっている
 - 信頼できる理由は、「テレビ」は「わかりやすい」、「最新の情報が得られる」が高く、「新聞」は「中立・公正である」、「情報が充実している」が高くなっており、情報源によって信頼する理由が異なっている
 - 「行政のホームページ」を信頼できる理由としては、「中立・公正である」、「科学的根拠に基づいた正確な情報が得られる」、「専門的である」が高い
- 食品安全に対する認識
 - 「日本では食品の安全性を確保するために厳しい法律がある」、「食品の安全性に関する情報は、高度に技術的で複雑なものが多い」、「10年前に比べて今の食べ物は安全である」との認識は他の項目に比べて高い
 - 「日本では、食品のリスク評価機関はリスク管理機関から独立している」は「よくわからない」が35.0%と高い
 - 「輸入食品は検査をされており、安全である」、「10年前に比べて今の食べ物は安全である」、「日本の公的機関は、国民の健康への危険が確認された場合、迅速に行動する」、「日本の公的機関は、生産者の利益よりも消費者の健康をより重視している」等、多くの項目で若年層より高年層が「そうではない」と認識する傾向
- 食品安全委員会の認知
 - 4割が食品安全委員会を「知らない」と回答、「どんな機関であるかを含めて知っている」は3.2%にとどまる
 - 「会社役員・管理職」や「公務員・団体職員」は認知度が比較的高い。また、同居の子どもの年齢が「妊娠中・乳幼児」（特に「1歳未満」）の場合にも認知度が比較的高い
- 食品安全委員会に期待する情報提供

- 「わかりやすい情報提供」が最も高く、「中立・公正な立場での見解」、「迅速な情報提供」、「科学的根拠に基づいた正確な情報の提供」と続く
- 食品安全委員会について「どんな機関であるかを含めて知っている」場合、「科学的根拠に基づいた正確な情報の提供」や「専門的な情報の発信」が高く、「わかりやすい情報の提供」は低くなる

3. 専門家の意見聴取

3-1 意見聴取の目的

本事業では、消費者の食品の安全性に関するハザードごとのリスク認知状況や食品安全委員会の認知度等をインターネットアンケートにより調査する。また、その調査設計に当たっては、リスク認知及びリスクコミュニケーションに関する専門的知見、社会心理学における統計処理に関する一定の知見等を有する専門家からの意見を聴取し、設計に反映することが重要である。

そのため、本事業を通じて幅広い専門的知見からの意見を聴取することを目的として、専門家の選定と意見聴取を行った。

3-2 専門家の選定

専門家の選定に当たっては、まず、認知心理学や社会心理学等の専門家のうち食品安全に係るリスクコミュニケーションに関与された経験を有する方、あるいは日頃よりリスクコミュニケーションそのものを主たる業務とされている方等を中心に候補をリストアップした。候補者について、食品安全委員会事務局担当官との協議を行い、以下の3名の専門家を選定し、意見聴取の依頼を行った。

畝山 智香子	国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部	部長
金川 智恵	追手門学院大学 経営学部 マーケティング学科	教授
中谷内 一也	同志社大学 心理学部	教授

(五十音順 敬称略)

3-3 意見聴取の内容

専門家への意見聴取は、4回に渡って実施した。第1回では、関連調査等の文献整理、FGIの実施方針（対象者・インタビュアーの選定や質問項目、インタビューの進め方等）の作成に当たって助言をいただいた。第2回では、第1回で助言を受けた文献等を参考に設計した FGI の進行案について詳細に意見を聴取した。第3回では、FGIの結果概要を報告するとともに、インターネットアンケート調査項目について詳細な検討を行い、それに対する助言を得た。第4回では、インターネットアンケート結果を報告するとともに、調査結果を踏まえた現状と課題の整理の方向性について意見を聴取した。

意見聴取の時期、議題等については、下表のとおり。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対処するため、全てオンラインにより実施した。

表 意見聴取の概要

	検討内容
第1回 (令和2年 8月上旬)	<ul style="list-style-type: none">● 本事業の概要● FGIの概要について：設問案、対象者条件案、グループ分類案、等● 文献の収集状況について：FGIの設計等に活かすための文献収集状況、等● インターネットアンケートの概要について：調査設計案、等

	検討内容
	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 本事業の全体像を踏まえ、調査設計、特にFGIの対象者条件、設問案及びその設計に必要な文献についてご相談 ➔ FGIの設問案については、第2回に確定
第2回 (令和2年 8月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ● FGIの概要について：第1回のご指摘を踏まえた設問最終案、等 ● インターネットアンケートについて：調査設計案、設問案、等 ➔ FGI実施に向けて、設問の最終案についてご相談 ➔ インターネットアンケートの設問案については、第3回に確定
第3回 (令和2年 11月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ● FGI調査結果について：FGIの調査結果概要報告 ● インターネットアンケートについて：第2回のご指摘を踏まえた設問最終案、等 ➔ インターネットアンケート実施に向けて、設問の最終案についてご相談
第4回 (令和3年 2月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果のとりまとめについて：上記調査結果から整理した現状と課題、等 ➔ 本事業のとりまとめの方向性、報告書（案）についてご相談

4. 既存の関連調査の文献整理

4-1 文献整理の目的

本事業におけるインターネットアンケートの調査設問等の設計検討に当たって、参考となる国内外の既存の関連調査等の収集を行い、食品安全に関する意識を問う質問の項目と結果の概要等を参照することを目的として、文献の収集、整理を行った。

4-2 国際機関における関連調査

本事業の目的の1つに「今後、同様の意識調査を定期的を実施し、経年的な把握を行うための基礎資料とすること」が挙げられている。そのため、欧州食品安全機関（EFSA）の「Eurobarometer survey」²の情報を収集した。本調査は、2019年、2010年及び2005年に調査が実施されており、3か年の設問文、選択肢等の情報を収集した。また、専門家からの助言を踏まえ、以下の国際機関における調査結果の収集を行った。

- 米国食品医薬品局（FDA）：「Food Safety Survey」³
- 英国食品基準庁（FSA）：「The Food and You Survey」⁴
- オーストラリア・ニュージーランド食品安全局（FSANZ）：「Consumer Attitudes Survey」⁵
- ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）：「BfR Consumer Monitor」⁶

特に、EFSA「Eurobarometer survey」はこれまで3回継続して調査を実施しており、下表の調査内容を収集し、設問文や選択肢等の内容をもとに、インターネットアンケートの調査項目等の検討時の参考とした。

表 EFSA「Eurobarometer survey」の概要

	年次	調査時期	調査地域	調査対象者
第3回	2019年	2019年4月	EU加盟28か国	15歳以上のEU加盟国在住者27,655人
第2回	2010年	2010年6月	EU加盟27か国	15歳以上のEU加盟国在住者26,691人
第1回	2005年	2005年9～10月	EU加盟25か国	15歳以上のEU加盟国在住者24,643人

4-3 国内の類似調査

国内においても、食品安全に関するFGI・インターネット調査等が実施されていることから、それらの文献を収集し、本事業における調査設計等の参考とした。具体

² 「Europeans on today's food issues: new EU-wide survey comes out on first World Food Safety Day」
(2019年6月公表) <https://www.efsa.europa.eu/en/press/news/190607>

³ 「2016 Food Safety Survey Report」 <https://www.fda.gov/food/cfsan-consumer-behavior-research/2016-food-safety-survey-report>

⁴ 「Food and You - Wave Five」 <https://www.food.gov.uk/research/food-and-you/food-and-you-wave-five>

⁵ 「Consumer Attitudes Survey 2007」
<https://www.foodstandards.gov.au/publications/documents/Consumer%20Attitudes%20Survey.pdf>

⁶ 「BfR Consumer Monitor」 https://www.bfr.bund.de/en/publication/bfr_consumer_monitor-195708.html

的には、食品安全委員会及び大学・研究機関・府省庁等が実施した類似調査のうち、主に FGI 及びインターネットアンケート事例を参照し、調査対象や設問文、選択肢等の調査項目の情報を収集した。

特に、食品安全委員会事務局が平成 20 年度に実施した「リスク認知の形成要因等に関する調査」⁷については、今後の定期的な調査の実施と経年把握を行う観点から調査項目等を参照した。食品安全委員会がこれまでに実施した調査報告書等の一覧は、下表のとおり。

表 食品安全委員会がこれまでに実施した調査の概要

年次	調査名	調査対象者
平成 30 年度	食品安全モニター課題報告 「食品の安全性に関する意識等 について」の結果（概要）	食品安全モニター405名
平成 29 年度		食品安全モニター444名
平成 28 年度		食品安全モニター467名
平成 27 年度		食品安全モニター467名
平成 27 年度	食品に係るリスク認識アンケート調査の結果	(1) 一般消費者（インターネット調査）：全国 10 地域（北海道～九州・沖縄）の 6 世代区分（20 代～70 代以上）のそれぞれ男女 30 名ずつ。計 3,600 名 (2) 食品安全の専門家（メール調査）：食品安全委員会専門委員計 161 名
平成 22 年度	食品安全委員会によるリスクコミュニケーションの効果的推進に資するための、行政によらない地域におけるコミュニケーション活動等に関する調査報告書	20～60 代の男女 2,000 人
平成 22 年度	食品の安全性に関する効果的な啓発素材の開発に関する調査報告書	i) 一般消費者（高校新卒者）100 名 ii) 有識者（科学者、技術者、教師等）50 名
平成 21 年度	食品の安全性に係るリスクコミュニケーションの効果に関する調査報告書	（インターネット調査）：全国の 20 代～60 代の男女 2,008 人（全国規模の一般生活者モニターから性別・年代別・地域別構成比に応じて層化無作為抽出。）・行動指標調査（介入試験）：首都圏一都三県（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の 20 代～60 代までの男女
平成 20 年度	リスク認知の形成要因等に関する調査報告書	（インターネット調査）：2,000 人。国勢調査結果をもとに、性別・年代別・地域別で割付。 （FGI）：各グループ 6 人 ①第一子が小学生までの子供がいる首都圏在住の女性 ②高校生以上の子供のみがいる首都圏在住の女性 ③30～40 歳代の首都圏在住のビジネスマン
平成 20 年度	食品の安全性の啓発に関する調査報告書	全国の小学 5・6 年生およびその親：子（小学 5・6 年）2,000 人、親 2,000 人、計 4,000 人
平成 18 年度	食品の安全性に係るリスクコミュニケーション等に関する調査報告書	（インターネット調査）：国勢調査人口をもとに、年齢、性別、居住地でサンプリングによる割付を行った。1,092 サンプル

⁷ <https://www.fsc.go.jp/fsciis/survey/show/cho20090020001>

5. フォーカスグループインタビューの実施

5-1 FGI の目的

インターネットアンケートの実施に先立ち、食品安全に関する消費者の意識や行動等について、定性的な情報収集を行い、設計している調査項目の方向性の確認や設問、選択肢等の妥当性の検証等を行うことを目的として、FGI を実施した。

5-2 FGI の調査設計

FGI の設計に当たっては、性別、年代、子ども有無等の要因を考慮したグループ設計を行う必要がある。また、本事業では、リスク認知の地域性について比較考察を行うこととされている。そのため、下表のとおり、「子どもの有無」及び「年代」によってグループ分類を行い、首都圏4グループ、北海道札幌市等1グループ、福岡県福岡市等1グループの計6グループに分類した。なお、グループ間を比較した際に属性の差が複数ある場合、どの属性による差か見極めることが難しくなるため、属性項目の1つである「性別」は女性に限定し、男性は対象としなかった。

表 FGI のグループ分類

	20代	30代	40代	50代
男性				
女性	Gr 1 子どもあり（首都圏）		Gr 3 子どもあり（首都圏）	
	Gr 2 子どもなし（首都圏）		Gr 4 子どもなし（首都圏）	
			Gr 5 子どもあり（札幌市等）	
			Gr 6 子どもあり（福岡市等）	

新型コロナウイルス感染症に十分留意して調査を実施するため、会場形式で実施した首都圏の4グループは飛沫防止のパーティション対策等を施した上で参加人数も5名に制限した。また、首都圏以外の2グループは、オンライン形式で実施し、オンライン上でのグループダイナミクス等に配慮して、参加人数は4名に制限した。

表 FGI の実施概要

	実施概要
グループ1	● 10月3日(土) 10:30～12:30 (20-30代女性・子どもあり首都圏、5名)
グループ2	● 10月4日(日) 10:30～12:30 (20-30代女性・子どもなし、首都圏、5名)
グループ3	● 10月3日(土) 14:00～16:00 (40-50代女性・子どもあり首都圏、5名)
グループ4	● 10月4日(日) 14:00～16:00 (40-50代女性・子どもなし、首都圏、5名)
グループ5	● 10月3日(土) 18:00～20:00 (40-50代女性・子どもあり札幌市等、4名) ● オンライン
グループ6	● 10月2日(金) 18:00～20:00 (40-50代女性・子どもあり福岡市等、4名) ● オンライン

5-2-2 FGI の実施

(1) FGI 事前調査 (スクリーナー)

FGI の実施に当たって、調査対象者を選定するための事前調査 (スクリーナー) を実施した。タイトルは「食品に関するお尋ね」として先入観を抱かれないような表現とし、回答状況をもとに、対象者を選定 (候補の優先順位を決定) することとした。

具体的な事前調査の内容は以下のとおり。なお、表中「★」印は、リスク認知の形成要因等に関する調査 (平成 20 年度食品安全委員会) の項目である。

表 事前調査項目

分類	設問項目	選択肢
基本属性	FACE1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)	1 男性 2 女性
	FACE2 あなたの年齢をお答えください。(数値)	(数値で回答)
	FACE3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(○は1つ) ※ 首都圏の場合 (地方都市は別途設定)	1 埼玉県 2 千葉県 3 東京都 4 神奈川県 5 その他 ※対象外
		市区町村 ()
	SCRQ1 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)	1 会社員 2 公務員 3 契約・派遣社員 4 自営業・自由業 (フリーランス) 5 パート・アルバイト 6 大学生、短大生、大学院生 7 その他学生 具体的に: () 8 専業主婦・主夫 9 無職 10 その他 具体的に: ()
SCRQ2 あなたがお勤めの業種・職種をお答えください。 例) ガラス (製造業) 関係で営業の仕事をしている 建築資材の商社関係で資材調達の仕事をしている IT 関係でシステム開発の仕事をしている サービス (飲食) 関係で接客の仕事をしている	業種/職種 () 関係で () の仕事をしている ※「食品の研究開発」等に携わっている場合は対象外	

分類	設問項目	選択肢
	SCRQ3 あなたの同居のご家族で、以下の業種に従事されている方はいらっしゃいますか。いらっしゃる方は、あてはまるものを全てお答えください。（○はいくつでも）	1 食品・飲料 2 医薬品・化粧品 3 化学・日用品 4 自動車・機械・電機・精密機器 5 出版・印刷・IT・ソフトウェア 6 宿泊・飲食 7 ヘルスケア・フィットネス（ジムトレーナー・スポーツインストラクター） 8 マスコミ・調査・広告・マーケティング 【→対象外】 9 その他サービス 10 医療業（病院、診療所、保健所など） 11 福祉業（保育園、ベビーシッター、ドゥーラ、老人福祉・介護など） 12 上記の業種に従事しているものは一人もいない
	SCRQ4 あなたの婚姻状況をお答えください。（○は1つ）	1 未婚 2 既婚 3 離死別
	SCRQ5 あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。（○は1つ）	1 いる 2 いない
	【お子さんがいらっしゃる方（前問で「1 いる」を選択した方）へ】 SCRQ6 あなたのお子さんは以下のいずれにあてはまりますか。あてはまるものを全てお選びください。	1 未就学児 2 小学生（1～3年生） 3 小学生（4～6年生） 4 中学生 5 高校生 6 専門学校・専修学校生 7 短大・高等専門学校・大学・大学院生 8 その他 具体的に：（ ）
	SCRQ7 あなたと同居している家族をお答えください。（○はいくつでも）	1 配偶者 2 子ども 3 父母（配偶者の父母を含む） 4 祖父母（配偶者の祖父母を含む） 5 兄弟・姉妹（配偶者の兄弟・姉妹を含む） 6 その他 具体的に：（ ） 7 同居家族はいない（一人暮らし）
食への関心	SCRQ8 現在、食や食生活において関心のあること・気になることについて、ご自由にご記入ください。★	（ ）
食への関与	SCRQ9 あなたは一週間のうち、①食材の購入、②惣菜・弁当の購入、③外食をどの程度行っていますか。それぞれについて回数をお答えください。★	① 食材の購入・・・（ ）回 ② 惣菜・弁当の購入・・・（ ）回 ③ 外食・・・（ ）回 ※ 1～21の数値項目

分類	設問項目	選択肢
	SCRQ10 あなたは普段、ご自身でどの程度調理をされていますか。以下より最も近いものをお選びください。(○は1つ)★	1 ほぼ毎日 2 週に4～5日程度 3 週に2～3日程度 4 週に1日程度 5 ほとんど自分では調理はしない
	SCRQ11 あなたは普段、食事のメニュー決めや外食先選びに、どのくらい関わっていますか。(○は1つ)	1 自分以外の人の意見を聞かず、自分で決める 2 自分以外の人の意見を聞くが、自分で決める 3 自分の意見を言うが、自分以外の人が決める 4 自分の意見を言わず、自分以外の人が決める
	SCRQ12 あなたが普段食料品(食材、惣菜、弁当など)を購入する際、よく利用しているお店の名前を教えてください。★ ※ 宅配や通販を含みます。	()
食品購入時重視点	SCRQ13 あなたは、食品を購入する際に、以下の項目をどの程度重視されますか。(それぞれ1つずつ)★ ※ 各項目6段階：非常に重視する／重視する／まあ重視する／あまり重視しない／重視しない／全く重視しない	① 価格 ② おいしさ ③ 鮮度 ④ 安全性 ⑤ 簡便性(料理の手間がかからない) ⑥ 産地(国産・外国産等)
食への不安	SCRQ14 あなたは普段、食品の安全性について、どの程度不安を感じていますか。(○は1つ)★	1 非常に不安を感じている 2 不安を感じている 3 やや不安を感じている 4 どちらともいえない 5 あまり不安を感じていない 6 不安を感じていない 7 全く不安を感じていない
	SCRQ15 以下の項目は、あなたにどの程度あてはまりますか。★ ※ 各項目6段階：非常にあてはまる／あてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／あてはまらない／全くあてはまらない	① できるだけ無農薬・有機食品を選んでいる ② 添加物が入っている食品は、なるべく避けるようにしている ③ 遺伝子組換え食品は、なるべく避けるようにしている ④ 食中毒に気をつけて、食材や調理器具を管理している ⑤ できるだけ天然・自然の食材を選んでいる ⑥ できるだけ新鮮な食材を選んでいる
情報収集	SCRQ16 あなたは、普段次のようなメディアをどの程度ご覧になっていますか。 ※ 各項目4段階：よく見ている／たまに見ている／あまり見ない／ほとんど見ない	① テレビ(ニュース・報道番組) ② テレビ(ワイドショー等情報番組) ③ 新聞(電子版含む) ④ 雑誌(電子版含む) ⑤ ニュースアプリ ⑥ インターネット(PC) ⑦ インターネット(スマートフォン・タブレット等)

分類	設問項目	選択肢
	SCRQ17 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。 ※ 各項目6段階：ほぼ毎日／週に4～5日／週に2～3日／週に1日／それ以下の頻度／使っていない	① LINE ② Twitter ③ Instagram ④ Facebook ⑤ YouTube
	SCRQ18 あなたは、食の安全性について、日頃積極的に情報を収集していますか。(○は1つ)★	1 自分から積極的に情報を収集している 2 気になったときに自分で情報を収集している 3 自分から積極的に情報を収集しないが、テレビや新聞などで目にすることがある 4 食の安全性に関する情報にはふだん接する機会がない 5 その他()
認知的熟慮性テスト (Cognitive Reflection Test)	SCRQ19 次の問題を読んで、お答えください。単位とともに、()内にご記入ください。	① バット一本とボール一個の値段は合計1,100円である。バットはボールより1000円高い。ボール一個はいくらか。・・・() ② 5つの製品をつくるのに5台の機械で5分かかる時、100の製品を100台の機械で作るのに何分かかかるか。・・・() ③ 池の一部をスイレンが占めている。スイレンが占める面積は毎日大きさが倍になる。スイレンが池全体を覆うのに48日かかるとしたら、池の半分を覆うのに何日かかるか。・・・()
最終学歴	SCRQ20 最後に卒業された学校についてお答えください。(○は1つ)	1 小学校・中学校 2 高等学校(旧制中学校も含む) 3 専門学校・専修学校 4 短期大学 5 高等専門学校 6 大学 7 大学院 8 その他()
	【前問で「3. 専門学校・専修学校」「4. 短期大学」「5. 高等専門学校」「6. 大学」「7. 大学院」と答えた方へ】 SCRQ21 あなたの専攻は理科室、文科系どちらでしたか。以下よりあてはまるものをひとつ選び、具体的な専攻分野名をお答えください。	(1) 理科室／文科系 1 理科室 2 文科系 3 どちらともいえない (2) 専攻分野名(例：文学、法学、経済学、工学、化学、生物学、農学、医学、薬学、家政学、栄養学、等) ()

分類	設問項目	選択肢
保有資格	SCRQ23 あなたは以下の資格をお持ちですか。あてはまるものを全てお答えください。 (○はいくつでも)	1 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師 2 保健師、助産師、看護師 3 医療技術者 4 管理栄養士、栄養士 5 その他の保健医療の職業 6 保育士、社会福祉士、介護福祉士 7 その他の社会福祉の専門的職業 8 教員（小・中・高） 9 栄養教諭、幼稚園教諭、養護教諭 10 NR・サプリメントアドバイザー、健康食品管理士、食品保健指導士 11 医薬品登録販売者 12 上記の資格を持っていない ※排他
同居家族の保有資格	SCRQ26 あなたの同居のご家族で、以下の資格をお持ちの方はいらっしゃいますか。いらっしゃる方は、あてはまるものを全てお答えください。 (○はいくつでも)	1 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師 2 保健師、助産師、看護師 3 医療技術者 4 管理栄養士、栄養士 5 その他の保健医療の職業 6 保育士、社会福祉士、介護福祉士 7 その他の社会福祉の専門的職業 8 教員（小・中・高） 9 栄養教諭、幼稚園教諭、養護教諭 10 NR・サプリメントアドバイザー、健康食品管理士、食品保健指導士 11 医薬品登録販売者 12 上記の資格を持っている人はいない ※排他

(2) FGI 進行表

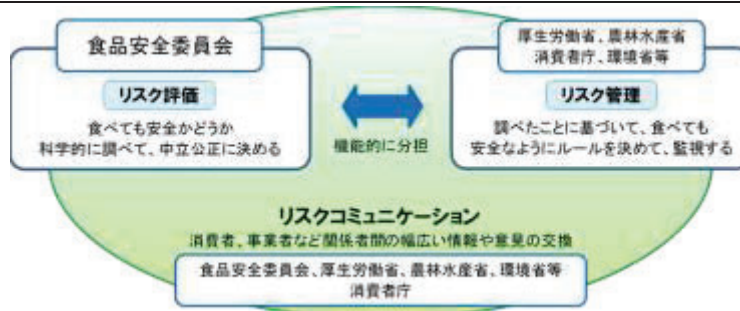
FGI は、以下の進行表（シナリオ）に沿って実施した。

<p>日程 グループ分類 (各グループ 4～5名)</p>	<p>グループ1 : 10月3日(土) 10:30～12:30 (20-30代女性・子どもあり、5名) グループ2 : 10月4日(日) 10:30～12:30 (20-30代女性・子どもなし、5名) グループ3 : 10月3日(土) 14:00～16:00 (40-50代女性・子どもあり、5名) グループ4 : 10月4日(日) 14:00～16:00 (40-50代女性・子どもなし、5名) グループ5 : 10月3日(土) 18:00～20:00 (40-50代女性・子どもあり、札幌市等、4名) <オンライン> グループ6 : 10月2日(金) 18:00～20:00 (40-50代女性・子どもあり、福岡市等、4名) <オンライン></p>																											
<p>仮説 グループ分類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品安全に関するリスク認知については、情報源や情報の見方により異なると想定される。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ インターネット等をうまく活用し必要な情報を入手できるか否か、公的機関の情報よりクチコミを信頼する、SNSで広まった情報を信頼する、等の違いによって、「正しく怖がる」ことができるかどうかにか差が生じるのではないか。どのような状況にあるか把握する。 ● また、子どもの食については、安全性への配慮が高まることが想定される。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 子どもの年齢（乳幼児・小学低学年と中学生以上、等によっても差が生じると想定）によって食の安全への感度が異なり、情報の収集方法や理解に差が出るのではないか。感度が高まるあまりリスクに過剰になる恐れがあるのではないか。その要因として、情報の見方が影響するのではないか。 ● そこで、グループ分類としては、「子どもの有無」、「年代」によって区分し、食に関して気になることとその理由、食に関する情報源等を聴取する（性別は女性に限定し、男性は対象としていない）。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「子どもあり」女性の年代（乳幼児～小学校低学年を持つ20-30代と中学生以上を持つ40-50代）、及び地域性による違い、「子どもなし」女性の年代による違いを比較するとともに、同じ年代の女性の子どもの有無による違いを比較する。 ※ 対象となる女性の年代は目安とし、子どもの学齢を踏まえグループ分類を行う（2008年度食安委調査参照） ➢ 本事業ではリスク認知の地域性について比較考察を行うこととされているため、札幌市等と福岡市等在住者を対象としたオンラインインタビューを行う。都市の選定にあたっては、テストマーケティング適地とされる都市から選定した。 ➢ 分類に用いた条件以外は、多様性を持たせてリクルートを行う。 <div data-bbox="523 1167 1347 1413" style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td colspan="2">Gr 1 子どもあり</td> <td colspan="2">Gr 3 子どもあり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Gr 2 子どもなし</td> <td colspan="2">Gr 4 子どもなし</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">Gr 5 子どもあり（札幌市等）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">Gr 6 子どもあり（福岡市等）</td> </tr> </tbody> </table> <p>図 グループ構成</p> </div>		20代	30代	40代	50代	男性					女性	Gr 1 子どもあり		Gr 3 子どもあり		Gr 2 子どもなし		Gr 4 子どもなし				Gr 5 子どもあり（札幌市等）				Gr 6 子どもあり（福岡市等）	
	20代	30代	40代	50代																								
男性																												
女性	Gr 1 子どもあり		Gr 3 子どもあり																									
	Gr 2 子どもなし		Gr 4 子どもなし																									
			Gr 5 子どもあり（札幌市等）																									
			Gr 6 子どもあり（福岡市等）																									
<p>スタート</p>	<p>00:00 (10min)</p> <p>開会： 【趣旨説明】 食品に関する座談会である旨を伝える。<食品安全委員会については触れない。></p> <p>【アイスブレイク】 ・ 自己紹介（お名前、お住まい、家族構成、お仕事。「食品」について関心のあること・気になること、テレビ・新聞・インターネット等をどのくらい見ているか、等）</p> <p>※ 手元情報（スクリーナーでの聴取結果） → 対象者の基本属性、「食材の購入・総菜・弁当の購入・外食」の頻度、「自身での調理」頻度、購入時重視点（安全性、等）、食品に対する不安度、メディア・SNS利用状況、最終学歴、等</p> <p style="color: red;">※ シナリオ（案）の順序どおりでなくても、用意した項目が聴取できればよい。</p>																											

<p>1) 食への関心・関与 (対象者の背景)</p>	<p>ねらい 00:10 (15min)</p>	<p>対象者の特性や背景の把握等に用いる</p> <p>食品に対する関心・関与</p> <p>Q. <自己紹介の内容を受けて>「食品」について関心のあること、について、もう少し詳しく聞かせていただけますか。また、その理由についても、聞かせてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> <話題が出ない場合>「自分で調理するとき」、「そのための買い物をするとき」、「総菜・弁当を買って食べる時」、「外食するとき」などのシチュエーションを思い浮かべてもらう。 <p>Q. <「低温調理」や「カフェイン（エナジードリンク等）」等、リスクが想定される食品がポジティブな意見として出た場合>それらを実際に摂取していますか。（他には、「サプリメント・健康食品」等が想定される。気になる単語が出てくれば、その場で指示出しする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 低温調理をしたことがある、エナジードリンクが好きでよく飲んでいる・子どもにも飲ませている。あるいは、TV等で見たり聞いたりしたことがある程度、等 <p>Q. また、それらに対して、どのような印象を持っていますか。なぜそのように思われるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プラスイメージは誰から、どのような情報で得たのか、等 <p>Q. <子どもがいる方に対して>子どもの食生活に関して、「特に関心のあること」、「取り組んでいること」、「取り組みたいができていないこと」、はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子どもと自分自身とで、関心事の違い、気をつけているレベル、内容に差があるか確認する。 <input type="checkbox"/> 子どもにどの程度手を掛けられているか（仕事が多忙、子どもが小さい・大きい、思春期、等）についても確認する。 <p>食品に関する情報源</p> <p>Q. 上で挙げいただいたようなこと、「食品」について、何から情報を得ていますか。</p> <p>Q. <インターネット、SNSが出た場合>どのようなサイト、アプリを使っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インターネットやSNSの使用状況、よく使うサイトやアプリを確認し、「4）」につなげる。 <p>Q. 「食品」について、インターネットで検索したことがありますか。どのようなキーワードで調べましたか。</p>
<p>2) 食品の安全性に関するハザードごとのリスク認知状況</p>	<p>ねらい 00:25 (25min)</p>	<p>食品安全分野におけるリスク認知の比較を行う</p> <p>食品や日頃の食生活について、「気になること」（純粹想起）</p> <p>（「気になること」は、不安やマイナス面について聴取する。「気になること」でポジティブなことが出てきた場合は触れない。）</p> <p>Q. <「1）」の関心のあることを受けて>食品や日頃の食生活で、何が「気になること」はありますか。それはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 一番気になっていること、どのような時に気になるか、等 <input type="checkbox"/> 「気になること」について、実際に「取り組んでいること」、「取り組みたいができていないこと」を確認する。 <input type="checkbox"/> 想定されるキーワード：食品添加物、農薬、遺伝子組換え食品、食中毒、健康食品（トクホ・栄養機能食品・機能性表示食品以外）、BSE（狂牛病）、放射性物質、過剰摂取、異物混入、アレルギー、等 <input type="checkbox"/> 「新鮮なら食中毒は起こしにくい」、「天然・自然のものは安全（人工・合成のものは危険）」、「無農薬・無添加なら安全」、「○○ならいくら食べても絶対に安全」など、リスクに対する誤解がありそうな発言は、その状況を深掘りする。 <input type="checkbox"/> <上記以外のキーワードが出た場合> 想定していないキーワードについて、どのような内容が深掘りする。（最近ママ友と○○の話がよく出てくる、等） <p>「気になる」理由（純粹想起されたキーワードについて）</p> <p>Q. <上記「気になること」を受けて>なぜ、「気になる」のでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 想定されるキーワード：恐ろしさ（死ぬから、長く苦しむから、少量でも影響が出るから、広い範囲に影響が及ぶから、何十年後に影響が出るから、子孫の世代に影響するから、コントロールできないから、発がん性があるから、等）、未知性（視覚・味覚・嗅覚で分からないから、どのような影響が出るか分からないから、科学的に解明されていないことが多いから、等） <input type="checkbox"/> <「不安」ということばが出た場合>何が「不安」か、どうして「不安」なのか深掘りする。 <p>食品や日頃の食生活についての、「気になること」の度合い・その理由</p> <p>Q. <上記「気になること」を受けて>それらを含め、次に挙げるような内容は、どの程度気になりますか。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> □ 提示キーワード：食品添加物、農薬、遺伝子組換え食品、食中毒、健康食品（トクホ・栄養機能食品・機能性表示食品以外）、BSE（狂牛病）、放射性物質、過剰摂取、異物混入、アレルギー、ヒ素などの重金属 ※ A3用紙に、キーワードを印刷したものを用意し、提示する。 <p>Q. この中で、もっとも「気になる」項目はどれですか。なぜ、「気になる」のでしょうか。</p> <p>Q. 逆に、この中で、もっとも「気にならない」項目はどれですか。なぜ、「気にならない」のでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「これさえ満たしていれば安心」といった意見が出た場合、深掘りする。
<p>3)</p> <p>食品安全以外のリスク分野（環境問題等）とのリスク認知の相対比較</p>	<p>ねらい</p> <p>00:50 (15min)</p>	<p style="background-color: #92d050; padding: 2px;">食品安全以外の分野のリスク認知を聴取し、食品安全との比較分析を行う</p> <p>（食品・食生活の情報源を聴取したあとに聴取する。）</p> <p>食品安全以外の分野について、「気になること」（純粹想起）</p> <p>Q. 先ほどお聞きした「食品や食生活について気になること」のほかに、日常生活を送る中で、あなたが「気になること」はありますか。新聞やテレビ、インターネットなど、ニュース・報道で取り上げられていることがらも含めて、どのようなことが思い浮かびますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 想定されるキーワード：地球温暖化・気候変動、身近な環境汚染、自然災害、重症感染症（新型コロナウイルス感染症 等）、犯罪、戦争・テロ、交通事故、航空機事故、喫煙、原子力発電所事故、医薬品、ワクチン、失業、経済不安、子どもの教育、子どもの将来、 等 <p>「気になる」理由（純粹想起されたキーワードについて）</p> <p>Q. <上記「気になること」を受けて>なぜ、「気になる」のでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 想定されるキーワード：恐ろしさ（死ぬから、長く苦しむから、広い範囲に影響が及ぶから、何十年後に影響が出るから、子孫の世代に影響するから、コントロールできないから、等）、未知性（どのような影響が出るか分からないから、科学的に解明されていないことが多いから、避けられないから、いつ起こるか分からないから、等） □ <「不安」ということばが出た場合>何が「不安」か、どうして「不安」なのか深掘りする。 <p>食品安全分野及びそれ以外の分野についての、「気になること」の度合い・その理由</p> <p>Q. <上記「気になること」を受けて>それらを含め、次に挙げるような内容は、どの程度気になりますか（食品安全分野も含め）。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 提示キーワード：食品・食生活、環境問題、自然災害、耐性病原菌・ウイルス、犯罪、戦争・テロ、交通事故、ワクチン、原発事故、経済不安 ※ A3用紙に、キーワードを印刷したものを用意し、提示する。 <p>Q. この中で、もっとも「気になる」項目はどれですか。なぜ、「気になる」のでしょうか。</p> <p>Q. 逆に、この中で、もっとも「気にならない」項目はどれですか。なぜ、「気にならない」のでしょうか。</p> <p>Q. では、この中で、先ほど挙げられた「食品・食生活について気になること」と同じくらい「気になる」項目はどれですか。それはなぜですか。</p>
<p>4)</p> <p>食品の安全性に関する各種情報の取得源と、各種取得源への信頼状況</p>	<p>ねらい</p> <p>01:05 (20min)</p>	<p style="background-color: #92d050; padding: 2px;">食品安全に関する各種情報源及びそれに対する信頼度を聴取する</p> <p>【情報源については、上記「食品・食生活について気になること」、「それ以外の分野で気になること」が出される中で、その都度柔軟に聞き出す】</p> <p>食品の安全性に関する各種情報源</p> <p>Q. <自己紹介や「1」を受けて> 普段、どこから情報を得ていますか（どのようなメディア・サービスから？）。</p> <p>Q. では、食品や普通の食生活について、どこから情報を得ていますか（どのようなメディア・サービスから？誰が発信している情報を？）。</p> <p>【どのようなメディア・サービスから？】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ テレビ（ニュース・報道番組、ワイドショー等情報番組）、新聞、雑誌 →（具体的な媒体名・番組名など） □ インターネット（ニュース、ブログ、企業、団体、行政） →（具体的な発信先：企業名や省庁名など） □ SNS（LINE、Twitter、Instagram、Facebook） →（具体的なサービス名、アカウント取得有無など）

		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周囲の人のクチコミ → (具体的に) <input type="checkbox"/> 店頭 → (具体的に) <p>【誰が発信している情報を?】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 家族、友人、ママ友、など <input type="checkbox"/> 学校の先生、かかりつけ医/医師などの医療関係者、店員 → (具体的に) <input type="checkbox"/> 有名人・ブロガー・インフルエンサー、ジャーナリスト → (具体的に) <input type="checkbox"/> 科学者・専門家、NGO・NPO、メーカー、小売業、自治体、国の機関(省庁、研究機関) → (具体的に) <p>Q. 食品や普通の食生活に関する情報について、どのようなメディア・サービスの、誰が発信している情報を信頼していますか。</p> <p>Q. その情報を「信頼できる」と考えるのはなぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 正確、分かりやすい、親しみやすい、科学的根拠に基づいている(科学的である)、専門的である、ネガティブ(マイナス)情報も隠さず開示している・透明性がある、中立的・公平な立場、迅速、アクセスしやすい、双方向コミュニケーションができる、消費生活に密着している、消費者の立場や意見を大切にしている、相談しやすい、自分の話を聞いてくれる、等 <p>Q. <食品・食生活について、平時と緊急時では、参照する情報源が普段の情報源とは異なるといった話が出た場合> 深掘りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 普段と違う情報を得ようとするのは、どういとき(緊急時)か。個人的な安全の危機か、あるいは社会的な安全がおびやかされているときか。(特定の事件について話題が出た際に深掘りする。) <input type="checkbox"/> そのようなとき(緊急時)は、どこから、どのような情報を得ようとするのか。
5) 食品安全の確保に関する仕組みの認知状況	ねらい 01:25 (15min)	<p style="text-align: center;">リスク分析のプロセスについて認知と信頼度を聴取するとともに、具体的な用語の認知も聴取する</p> <p>「食品の安全」に対する認知</p> <p>Q. みなさんは、日本の食品は安全だと思いますか。</p> <p>Q. では、日本では、食の安全はどのように守られていると思いますか。</p> <p>Q. みなさんは、食品や食生活について、何をもち「安全」だと判断していますか(なぜ「安全」だと考えて摂取していますか)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 例) 賞味期限、消費期限等、基準が設定されている、ルールがある、等(何かしら、誰かしが安全を担保している) <p>Q. <u>食品・食生活における安全性</u>についてのルールや基準は、どのように決められていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 国が決めている → (具体的に: 厚生労働省、農林水産省、消費者庁、食品安全委員会、等) <input type="checkbox"/> 専門家が決めている → (具体的に) <p>Q. ところで、あなたが日頃感じている、「科学者・専門家」のイメージを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> メディアなどで、いろいろな「科学者・専門家」が出てきますが、それらをどのように受け止めているか。
6) 食品安全委員会に対する認知状況	ねらい 01:40 (15min)	<p style="text-align: center;">消費者がどの程度、食品安全委員会の役割を認識しているかを把握する</p> <p>食品安全委員会の認知、印象・イメージ</p> <p>Q. <「5」を受けて> 国の機関の名前が出てきましたが、「食品安全委員会」を聞いたことがありますか。知っていますか。</p> <p>Q. <知っている・聞いたことがある場合> 知った・聞いたきっかけは何ですか。どのような印象・イメージを持っていますか。その理由は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> きっかけ: TVの○○という番組で聞いた気がする、○○で読んだ、等 <input type="checkbox"/> 印象・イメージ: 正確、分かりやすい、親しみやすい、科学的根拠に基づいている(科学的である)、専門的である、ネガティブ(マイナス)情報も隠さず開示している・透明性がある、中立的・公平な立場、迅速、アクセスしやすい、双方向コミュニケーションができる、消費生活に密着している、消費者の立場や意見を大切にしている、等 <p>「食品安全を守る仕組み」で担っている役割を聞いた上での印象・イメージ 【図を提示する】</p>



図：食品安全委員会「食品のリスクを考えるフォーラム」（平成27年度）資料及び平成30年版消費者白書を参照し作成

Q. 食品安全委員会は、「リスク評価」という、食べても安全かどうか調べて、決めるという役割を担っています。他省庁と連携して、「リスクコミュニケーション」も行っています。こうした役割を担っている組織である食品安全委員会について、どのような印象・イメージを持ちますか。

Q. 図の中の「リスク評価」について、どのような印象・イメージを持ちますか。

食品安全委員会のウェブサイト等を見た上での印象・イメージ

（ウェブサイト・広報誌「食品安全」・「キッズボックス」を一度見てもらってから、食品安全委員会の評価を聴く。）

（ウェブサイト等自体の評価ではなく、そうしたものをやっている食品安全委員会の評価を聴取する。）

【タブレットを配布し、食品安全委員会のウェブサイトを見ながら5分程度、閲覧してもらう】 <https://www.fsc.go.jp/>

Q. <タブレットで閲覧後> いま食品安全委員会のウェブサイトを見ただけ見ていただきましたが、こうしたウェブサイトを作ってこのような情報を発信している食品安全委員会について、どのような印象・イメージを持ちますか。

Q. <食品安全委員会の「年誌（広報誌「食品安全」

https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index.html）

「キッズボックス」 <https://www.fsc.go.jp/kids-box/> を配布>

いまお配りしたようなパンフレットを作っている食品安全委員会について、どのような印象・イメージを持ちますか。

エンド	01:55 (5min)	(追加聴取項目の確認) 閉会
-----	-----------------	-------------------

5-3 FGI の結果

(1) 食品に対する関心・関与

共通する項目として、「産地」、「鮮度」、「食材の価格」、「食品添加物」、「農薬」等が挙げられた。

表 食品に対する関心・関与

グループ1 20-30代・子どもあり 首都圏	グループ2 20-30代・子どもなし 首都圏	グループ3 40-50代・子どもあり 首都圏	グループ4 40-50代・子どもなし 首都圏	グループ5 40-50代・子どもあり 札幌市等	グループ6 40-50代・子どもあり 福岡市等
● 産地(5名)	● 産地(5名)	● 産地(5名)	● 産地(5名)	● 産地(4名)	
● 鮮度(2名)	● 鮮度(1名)	● 鮮度(4名)	● 鮮度(3名)	● 鮮度(1名)	
● 食材の価格(1名)	● 食材の価格(2名)		● 食材の価格(1名)	● 食品の価格(3名)	● 食品の価格(2名)
● 食品添加物(5名)	● 食品添加物(5名)		● 食品添加物(3名)	● 食品添加物(3名)	
● 農薬(5名)	● 農薬(3名)	● 農薬(2名)	● 農薬(3名)		
	● 糖質(3名)		● 糖質(4名)	● 糖質(2名)	● 糖質(1名)
	● 塩分(1名)	● 塩分(1名)	● 塩分(2名)		
	● タンパク質(2名)		● タンパク質(4名)		
	● 家畜への投薬(2名)		● 家畜への投薬(2名)		
		● 新型コロナウイルスによる食生活・購入方法の変化(5名)	● 新型コロナウイルスによる食生活・購入方法の変化(1名)		
● 栄養バランス(1名)					● 栄養バランス(3名)
	● 食品ロス(1名)		● 食品ロス(1名)		
● 食事のレポートリー(1名)		● 食事のレポートリー(1名)			
				● サプリメント(1名)	● サプリメント(1名)
● 機能的表示食品(2名)	● 賞味期限(2名)	● 旬の食事(2名)	● 在庫ロス(1名)	● ダイエット(2名)	● 健康的な食生活(1名)
● 品質(1名)	● 料理の保存方法(1名)	● 発酵食品(1名)	● 食べ物の未来(1名)	● 食材の獲れる場所(1名)	● 今後の日本の食の問題(1名)
● 時短料理(1名)	● 脂質(1名)	● 酢を飲む(1名)		● 便秘により食材(1名)	
		● シリアルに凝っている(1名)			
		● 遺伝子組換え(2名)			

(2) 食品に関する情報源／信頼できる情報源

情報源として、「テレビ」、「インターネット」、「新聞、雑誌、書籍」は全グループで挙げられた。

表 食品に関する情報源

グループ1 20-30代・子どもあり 首都圏	グループ2 20-30代・子どもなし 首都圏	グループ3 40-50代・子どもあり 首都圏	グループ4 40-50代・子どもなし 首都圏	グループ5 40-50代・子どもあり 札幌市等	グループ6 40-50代・子どもあり 福岡市等
● テレビ(2名)	● テレビ(4名)	● テレビ(3名)	● テレビ(2名)	● テレビ(4名)	● テレビ(4名)
● インターネット(3名)	● インターネット(3名)	● インターネット(1名)	● インターネット(2名)	● インターネット(2名)	● インターネット(1名)
● 雑誌(2名)		● 雑誌(1名)			● 雑誌(2名)
● 書籍(2名)	● 書籍(2名)		● 書籍(2名)		● 書籍(2名)
	● 口コミ(5名)	● 口コミ(1名)		● 新聞(1名)	● 新聞(1名)
	● 食品分野に携わっている人(1名)			● 口コミ(1名)	● 口コミ(2名)
● 中吊り広告(1名)			● 中吊り広告(1名)	● 店頭POP(1名)	
● SNS(1名)	● SNS(2名)			● SNS(1名)	
	● 映画(1名)		● ラジオ(1名)		

信頼できる情報源は、全グループで「テレビ」が挙げられた。「専門家」も3つのグループで挙げられた。

表 信頼できる情報源

グループ1 20-30代・子どもあり 首都圏	グループ2 20-30代・子どもなし 首都圏	グループ3 40-50代・子どもあり 首都圏	グループ4 40-50代・子どもなし 首都圏	グループ5 40-50代・子どもあり 北海道	グループ6 40-50代・子どもあり 福岡・熊本
● テレビ (2名)	● テレビ (1名) ● 専門家 (1名)	● テレビ (2名) ● 専門家 (4名)	● テレビ (1名)	● テレビ (4名)	● テレビ (2名) ● 専門家 (2名)
	● 何も信用できない (3名)		● 何も信用できない (3名)		
● ロコミ (1名)					● 知り合い (2名)
● 国の発表 (3名) ● メーカーの公式ホームページ (1名)	● 複数の情報源 (2名) ● 食品に関する協会 (1名)		● ラジオ番組 (1名)	● 新聞 (1名)	

(3) 食品や日頃の食生活について「気になること」、「気にならないこと」

最も気になることとして、「食品添加物」、「健康食品」（主に効果効能）等が挙げられた。

表 最も気になること

グループ1 20-30代・子どもあり 首都圏	グループ2 20-30代・子どもなし 首都圏	グループ3 40-50代・子どもあり 首都圏	グループ4 40-50代・子どもなし 首都圏	グループ5 40-50代・子どもあり 札幌市等	グループ6 40-50代・子どもあり 福岡市等
● 食品添加物 (3名) ● 健康食品 (2名)	● 食品添加物 (2名) ● アレルギー (1名) ● 農薬 (1名)	● 食品添加物 (2名) ● 健康食品 (2名)	● 食品添加物 (1名) ● 健康食品 (2名)	● アレルギー (1名) ● 農薬 (2名)	● 健康食品 (1名) ● アレルギー (1名)
	● 遺伝子組換え食品 (1名)		● 異物混入 (2名)	● 遺伝子組換え食品 (1名)	● 異物混入 (1名)
		● 放射性物質 (1名)			● 食中毒 (1名)

最も気にならないことは、「健康食品」（主に安全性）、「過剰摂取」等が挙げられた。

表 最も気にならないこと

グループ1 20-30代・子どもあり 首都圏	グループ2 20-30代・子どもなし 首都圏	グループ3 40-50代・子どもあり 首都圏	グループ4 40-50代・子どもなし 首都圏	グループ5 40-50代・子どもあり 北海道	グループ6 40-50代・子どもあり 福岡・熊本
	● 健康食品 (2名)	● 健康食品 (1名)	● 健康食品 (1名)	● 健康食品 (1名)	● 健康食品 (1名)
● 過剰摂取 (3名)		● 過剰摂取 (1名) ● 重金属 (1名)	● 過剰摂取 (2名) ● 重金属 (2名)	● 重金属 (2名)	
	● 遺伝子組換え食品 (1名) ● 食中毒 (1名) ● アレルギー (1名)	● 食中毒 (1名)			● 遺伝子組換え食品 (2名) ● アレルギー (1名)
● 放射性物質 (1名) ● 気にしていない項目が多い (1名)		● 食品添加物 (1名)		● BSE (1名)	

6. インターネットアンケートの実施

6-1 アンケートの調査設計

(1) 調査設計

インターネットアンケートの調査設計は、下表のとおりとした。

表 インターネットアンケートの設計

調査手法	インターネット調査
調査範囲	全国
調査対象	20～69歳の男女 ※人口構成比に準拠し、割当抽出（平成27年国勢調査をベースに人口動態を加味したデータを使用） ※本人または同居家族が、次の職業に従事している場合は除外 →マスコミ・広告、新聞・放送業/市場調査
標本サイズ	6,000サンプル ※各層の回収数は、回収目標数の90～110%とする
調査ボリューム	30問以内
調査実施期間	2020年12月16日～18日

人口構成比の割付は、下表のとおり。

表 インターネットアンケートの性別年代別構成比 割付

1段目:度数、2段目:全体%	TOTAL	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
TOTAL	6000	948	1086	1431	1303	1232
	100.0	15.8	18.1	23.9	21.7	20.5
男性	3000	483	549	720	649	599
	50.0	8.1	9.2	12.0	10.8	10.0
女性	3000	465	537	711	654	633
	50.0	7.8	9.0	11.9	10.9	10.6

(2) 調査設問

FGIの結果を踏まえて設問文や選択肢表現等の修正を行い、専門家の意見を聴取した上で、インターネットアンケートの調査設問を下表のとおり設定した。調査画面の詳細は資料編参照。

表 調査設問

QNO.	設問文	設問の概要（選択肢等）
Q1	食事の摂り方について、あなたに一番当てはまるものをお選びください。	【食事の摂り方（調理、外食等）】 1 自宅で食べることが多い（自分が調理）、2 自宅で食べるが多い（家族・同居の方が調理）、3 自宅で食べるが多い（自分が総菜・弁当を購入）、4 自宅で食べるが多い（家族・同居の方が総菜・弁当を購入）、5 自宅で食べるが多い（出前・デリバリーを利用）、6 外食が多い

QNO.	設問文	設問の概要（選択肢等）
Q2	あなたは、食品を購入する際に、以下の項目をどの程度重視されますか。（それぞれ1つずつ） 表側項目：1 価格、2 おいしさ、3 鮮度、4 安全性、5 簡便性、6 産地、7 栄養素含有量、8 量・大きさ、9 季節感・旬、10 生産者・食品メーカー	【購入時重視点】 「重視する」～「重視しない」の6段階
Q3	あなたは次に挙げる食品に関する事柄について、どのくらい不安に感じますか。（それぞれ1つずつ） 表側項目：1 残留農薬、2 食品添加物、3 遺伝子組換え、4 BSE（狂牛病）、5 食中毒、6 健康食品・サプリメント、7 放射性物質、8 汚染物質、9 抗生物質、ホルモンまたはステロイドの残留物、10 アレルゲンを含む食品	【ハザード別不安度（食品分野）】 「とても不安を感じる」～「全く不安を感じない」の5段階及び「よくわからない」
Q4	次に挙げる食品に関する事柄について、あなたが不安を感じるきっかけとなった事柄は何ですか。（それぞれいくつでも） 表側項目：Q3と同様	【ハザード別不安のきっかけ（食品分野）】 1 自分自身・身の回りの人が被害を受けたことがある、2 事件・事故等のニュース・報道を見て、3 テレビ・インターネット上の動画などで衝撃的な映像を見て、等
Q5	次に挙げる食品に関する事柄について、あなたはどのような考えをお持ちですか。（それぞれいくつでも） 表側項目：1 残留農薬、2 食品添加物、3 遺伝子組換え、4 BSE（狂牛病）、5 食中毒、6 健康食品・サプリメント、7 放射性物質、8 抗生物質、ホルモンまたはステロイドの残留物、9 アレルゲンを含む食品	【ハザード別リスクイメージ】 1 事件・事故が発生したときの被害が大きい、2 事件・事故が発生する確率が高い、3 科学的に未知、不確かなものである、4 将来世代にまで影響を及ぼす、5 摂取するたびに人体に蓄積されている 等
Q6	あなたは次に挙げる事柄について、どのくらい不安に感じますか。（それぞれ1つずつ） 表側項目：1 環境問題、2 自然災害、3 食品安全、4 感染症、5 犯罪、6 戦争・テロ、7 交通事故、8 経済不安、9 原発事故	【ハザード別不安度（食品分野及びそれ以外の分野）】 「とても不安を感じる」～「全く不安を感じない」の5段階及び「よくわからない」
Q7	次のようなメディア・サービスのうち、毎日のように利用されているものをすべてお選びください。（いくつでも）	【毎日のように利用しているメディア・サービス】 1 テレビ、2 ラジオ、3 新聞、4 雑誌、5 Web ニュース等
Q8	あなたは、食品の <u>安全性</u> について、日頃積極的に情報を収集していますか。	【食品安全に関する積極的な情報収集】 1 自分から積極的に情報を収集している、2 気になったときに自分で情報を収集している 等
Q9	食品の <u>安全性</u> について情報を得る場合、(1)～(3)について情報源を選んでください。 表側項目：(1)食品の安全性に関する情報を得る情報源、(2)食品の安全性に関する情報について信頼できる情報源、(3)食品の安全性に関する情報についてもっとも信頼できる情報源	【食品安全に関する情報源】 1 テレビ、2 ラジオ、3 新聞（電子版含む）、4 Webの記事（一般個人のブログなど）、5 Webの記事（企業や団体など） 等
Q10	その情報源を「もっとも信頼できる」と考える理由を選んでください。（いくつでも）	【情報源を信頼できる理由】 1 最新の情報が得られる、2 わかりやすい、3 科学的

QNO.	設問文	設問の概要（選択肢等）
		根拠に基づいた（科学的で）正確な情報が得られる、4 専門的である 等
Q11	<p>あなたは、次の各項目について、どのように認識していますか（それぞれ1つずつ）</p> <p>表側項目：1 輸入食品は検査をされており、安全である、2 10年前に比べて今の食べ物は安全である、3 日本では食品の安全性を確保するために厳しい法律がある、4 日本の公的機関は、国民の健康への危険が確認された場合、迅速に行動する、5 日本の公的機関は、生産者の利益よりも消費者の健康をより重視している、6 日本の公的機関が食品リスクに関する意思決定を行う際には、最新の科学的根拠を考慮に入れている、7 日本の公的機関は、食品に関連するリスクについて人々に科学的で透明性の高い情報を提供している、8 日本では、食品のリスク評価機関はリスク管理機関から独立している、9 日本の公的機関は食品の安全性に関する国民の懸念に配慮している、10 食品の安全性に関する情報は、高度に技術的で複雑なものが多い</p>	【食品安全に対する認識】 「そうである」～「そうではない」の4段階及び「よくわからない」
Q12	食品安全委員会をご存知ですか。	【食品安全委員会の認知】 1 どんな機関であるかを含めて知っている、2 名前は知っている、3 言われてみれば名前は聞いたことがある、4 知らない
Q13	食品安全委員会はホームページ・Facebook・ブログ・冊子・ポスター等で情報発信をしています。ご覧になったことがあるものすべてをお選びください。（いくつでも）	【食品安全委員会の情報発信ツールの認知】 1 ホームページ、2 Facebook、3 ブログ、4 メールマガジン、5 YouTube、6 食品健康影響評価書・リスクプロファイル・ファクトシート 等
Q14	食品の安全性に関する情報提供において、 <u>食品安全委員会</u> に期待することは何ですか。あなたが期待することについて、5 つまでお選びください。（5 つまで）	【食品安全委員会に期待する情報提供】 1 最新の情報の提供、2 わかりやすい情報の提供、3 科学的根拠に基づいた正確な情報の提供 等
Q15	あなたの同居のお子さんは、以下のいずれに当てはまりますか。当てはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）	【同居の子ども学齢】 1 妊娠中、2 0～5（ヶ月）、3 6～11（ヶ月）、4 1～2（歳）、5 3～6（歳） ※未就学、6 小学生（1～3年生） 等
Q16	あなた自身または同居の方に、 <u>現在食物アレルギー</u> をお持ちの方はいらっしゃいますか。（いくつでも）	【同居家族の食物アレルギー保有者】 1 あなた自身（医師からの診断を受けている）、2 あなた自身（医師からの診断を受けていない）、3 同居の方（医師からの診断を受けている）、4 同居の方（医師からの診断を受けていない）、5 あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない
Q17	あなたの性別をお答えください。	【性別】
Q18	あなたの年齢をお答えください。	【年代】

6-2 アンケートの結果

6-2-1 回収結果

インターネットアンケートの回収結果は、下表のとおり。

表 インターネットアンケートの性別年代別回収結果

1段目:度数、2段目:全体%	TOTAL	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳
TOTAL	6529	1097	1158	1534	1408	1332
	100.0	16.8	17.7	23.5	21.6	20.4
男性	3255	552	578	766	705	654
	49.9	8.5	8.9	11.7	10.8	10.0
女性	3274	545	580	768	703	678
	50.1	8.3	8.9	11.8	10.8	10.4

6-2-2 調査結果

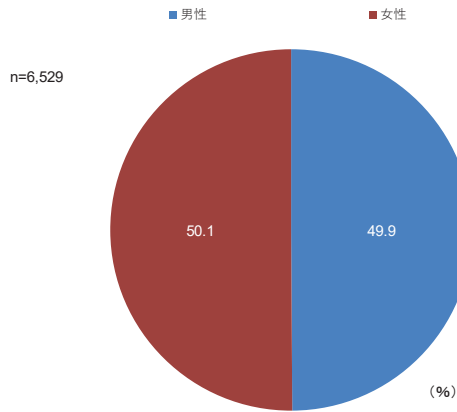
インターネットアンケートの調査結果の見方については、以下のとおり。

- アンケートの結果を詳細に示した図表の見方は、以下のとおり。調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。サンプル数は、その質問項目の回答者の総数であり、その数はnで示している。
- サンプル数（n）30未満の結果については、参考値扱いとして、コメントしていない。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）と複数回答（回答はいくつでも）の2種類がある。
- 回答率（%）の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の合計は必ずしも100%とならない場合がある。
- 複数回答の場合には、その回答率（%）の合計は100%を超える場合がある。
- 数表において、「平均値」やソートの対象外とした選択肢等は、セルを赤く色付けしている。
- TOTAL（グラフによっては特定の行を指定）と比較して統計的に有意な差（有意水準5%）を中心にコメントを記載している。

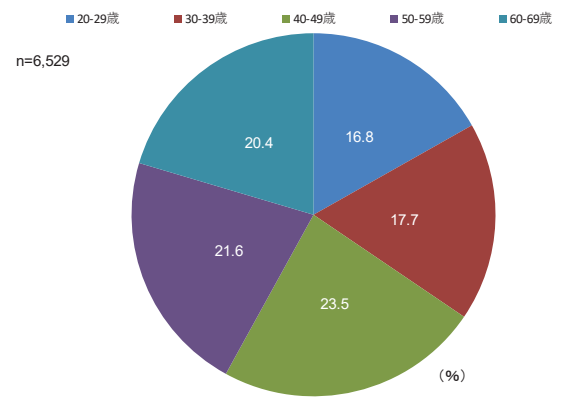
■ 検定・ポイント差情報	
比率の差の検定	有意水準5%で高い
対TOTAL行	有意水準5%で低い

(1) 属性

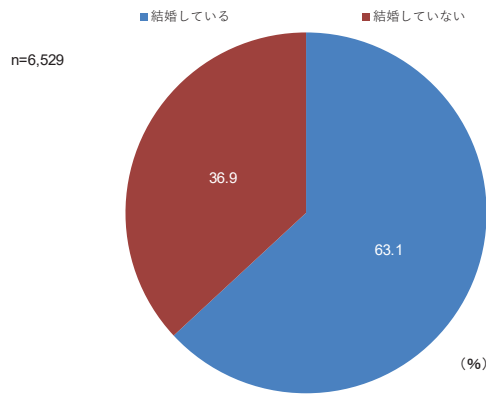
① 性別



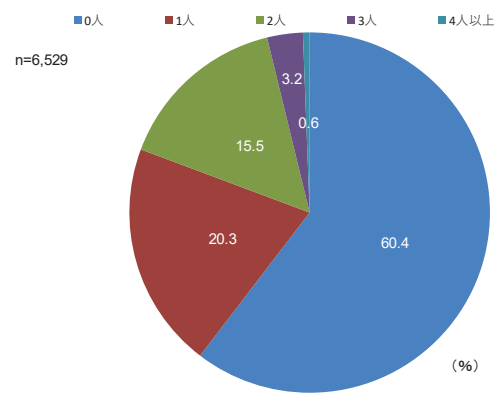
② 年代



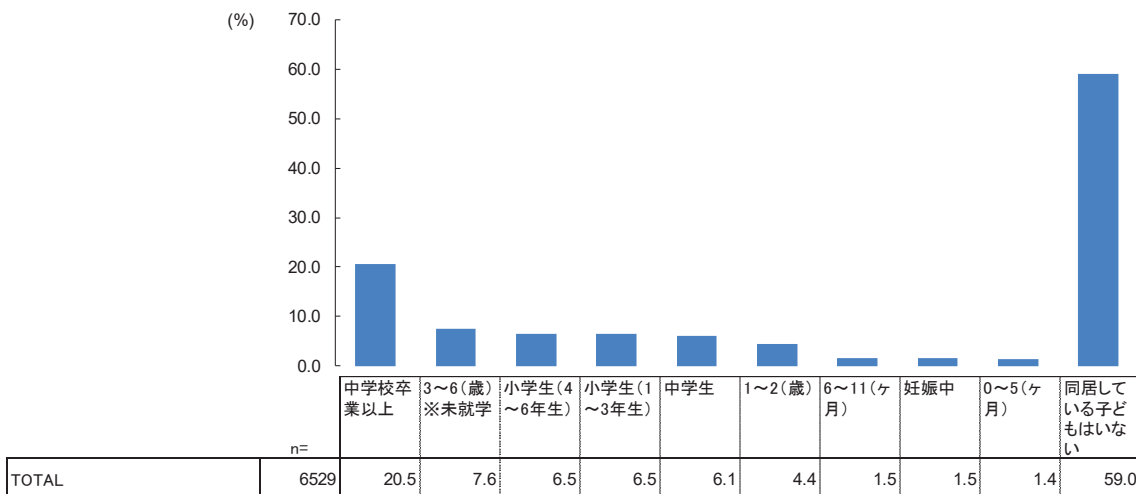
③ 婚姻状況



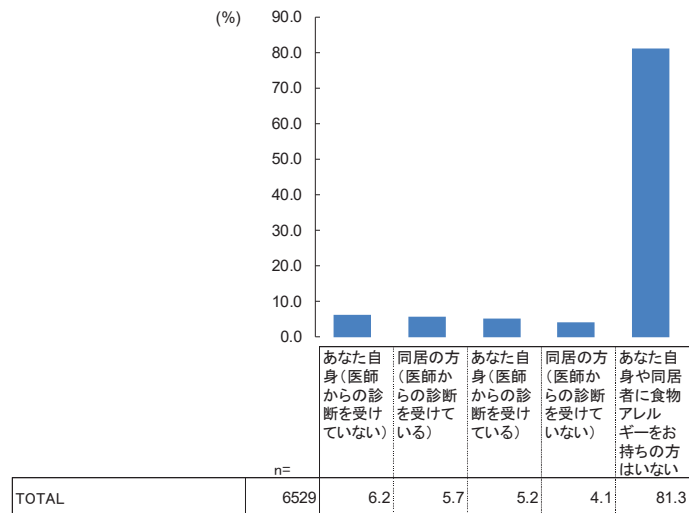
④ 同居子ども人数



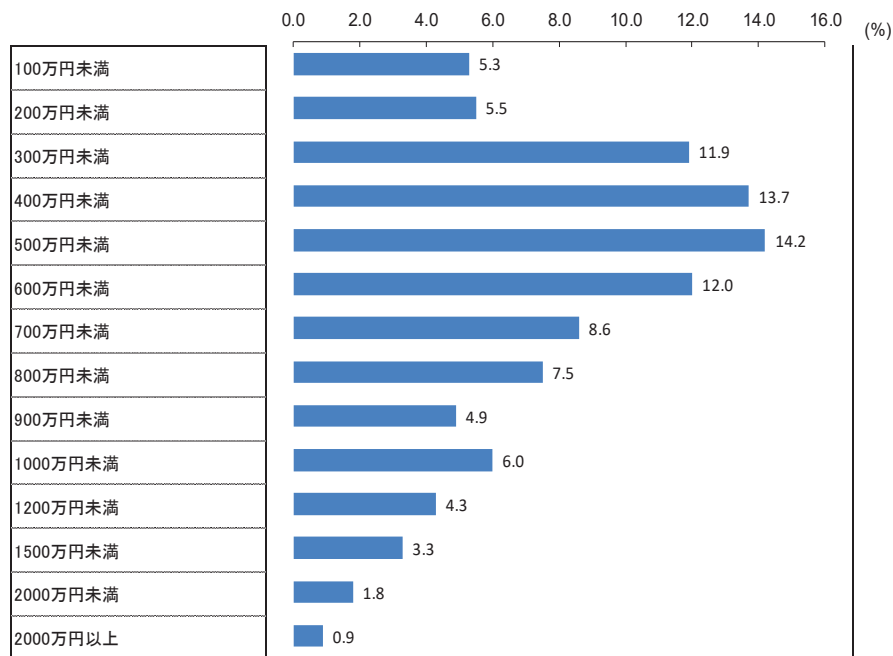
⑤ 同居の子どもの年齢



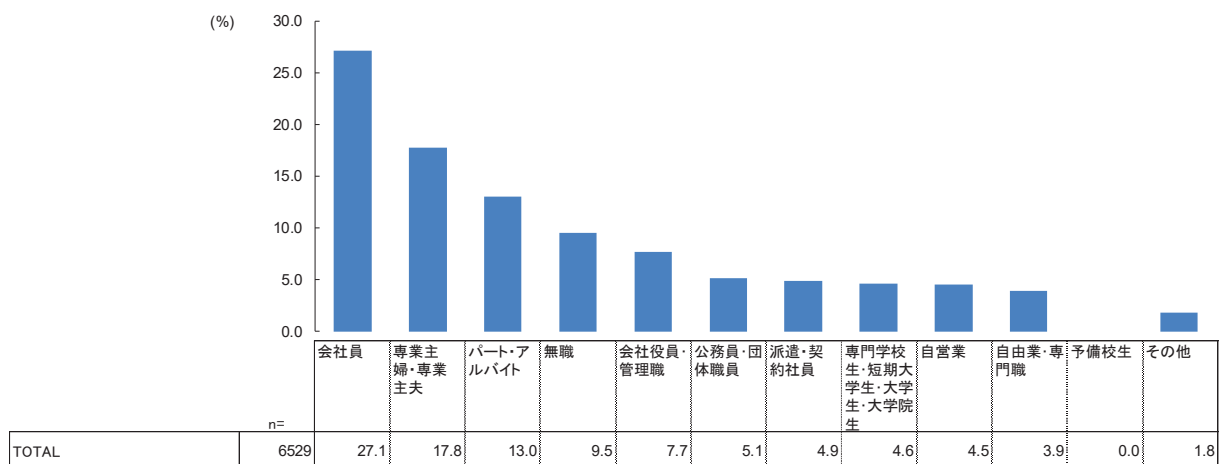
⑥ 同居家族の食物アレルギー保有者



⑦ 世帯税込年収



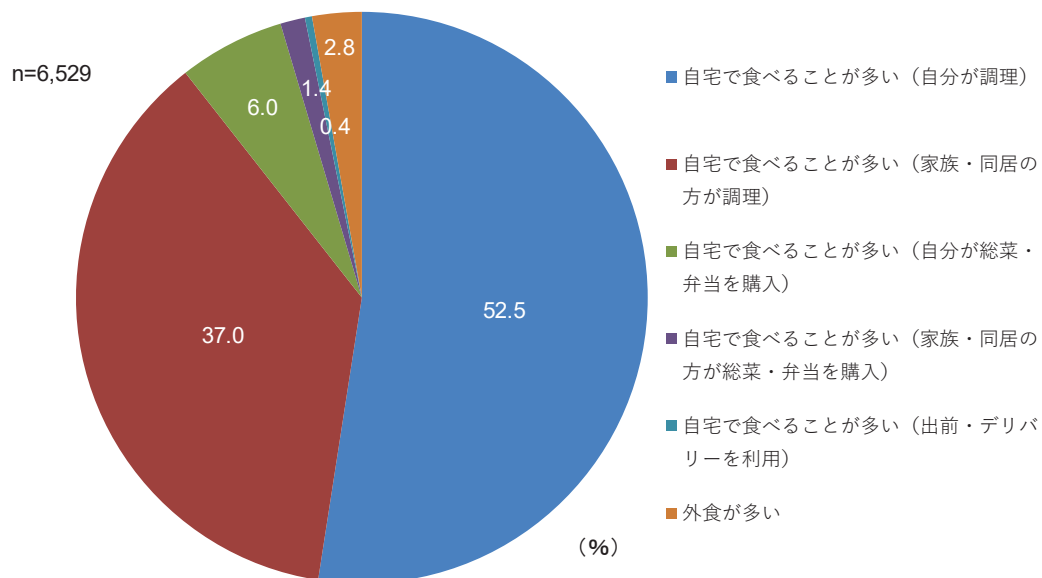
⑧ 職業



(2) 食事の摂り方 (調理、外食等)

「自宅で食べることが多い (自分が調理)」が 52.5%と最も高く、次いで「自宅で食べるが多い (家族・同居の方が調理)」が 37.0%となっている。

Q1 : 食事の摂り方について、あなたに一番当てはまるものをお選びください。



以下に、性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別の集計表を示す。

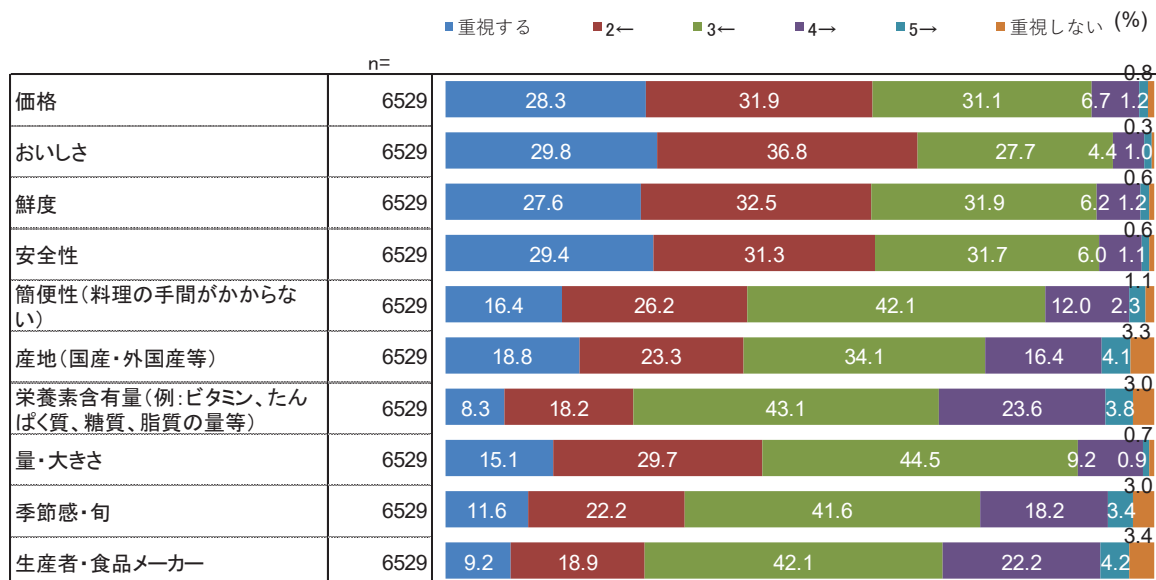
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	自宅で食 べることが 多い(自分 が調理)	自宅で食 べることが 多い(家 族・同居の 方が調理)	自宅で食 べることが 多い(自分 が総菜・弁 当を購入)	自宅で食 べることが 多い(家 族・同居の 方が総菜・ 弁当を購入)	自宅で食 べることが 多い(出 前・デリバ リーを利用)	外食が多 い
1段目 度数	2段目 種%							
TOTAL		6529	3427	2413	395	89	24	181
		100.0	52.5	37.0	6.0	1.4	0.4	2.8
性別	男性	3255	830	1950	263	60	14	138
		100.0	25.5	59.9	8.1	1.8	0.4	4.2
性別	女性	3274	2597	463	132	29	10	43
		100.0	79.3	14.1	4.0	0.9	0.3	1.3
年代	20-29歳	1097	457	452	99	26	7	56
		100.0	41.7	41.2	9.0	2.4	0.6	5.1
	30-39歳	1158	594	440	72	13	7	32
		100.0	51.3	38.0	6.2	1.1	0.6	2.8
	40-49歳	1534	797	582	87	25	4	39
		100.0	52.0	37.9	5.7	1.6	0.3	2.5
年代	50-59歳	1408	780	489	87	12	4	36
		100.0	55.4	34.7	6.2	0.9	0.3	2.6
年代	60-69歳	1332	799	450	50	13	2	18
		100.0	60.0	33.8	3.8	1.0	0.2	1.4
性年代	男性20-29歳	552	184	254	61	12	2	39
		100.0	33.3	46.0	11.1	2.2	0.4	7.1
	男性30-39歳	578	151	344	48	10	6	19
		100.0	26.1	59.5	8.3	1.7	1.0	3.3
	男性40-49歳	766	168	489	55	18	4	32
		100.0	21.9	63.8	7.2	2.3	0.5	4.2
	男性50-59歳	705	158	441	64	10	0	32
		100.0	22.4	62.6	9.1	1.4	0.0	4.5
	男性60-69歳	654	169	422	35	10	2	16
		100.0	25.8	64.5	5.4	1.5	0.3	2.4
	女性20-29歳	545	273	198	38	14	5	17
		100.0	50.1	36.3	7.0	2.6	0.9	3.1
女性30-39歳	580	443	96	24	3	1	13	
	100.0	76.4	16.6	4.1	0.5	0.2	2.2	
女性40-49歳	768	629	93	32	7	0	7	
	100.0	81.9	12.1	4.2	0.9	0.0	0.9	
女性50-59歳	703	622	48	23	2	4	4	
	100.0	88.5	6.8	3.3	0.3	0.6	0.6	
女性60-69歳	678	630	28	15	3	0	2	
	100.0	92.9	4.1	2.2	0.4	0.0	0.3	
地域	北海道	272	145	98	16	7	1	5
		100.0	53.3	36.0	5.9	2.6	0.4	1.8
	東北	432	223	176	20	5	0	8
		100.0	51.6	40.7	4.6	1.2	0.0	1.9
	関東	379	209	137	15	10	1	7
		100.0	55.1	36.1	4.0	2.6	0.3	1.8
	首都圏/一都三県	1977	1025	706	137	32	9	68
		100.0	51.8	35.7	6.9	1.6	0.5	3.4
	北陸	359	174	150	20	7	0	8
		100.0	48.5	41.8	5.6	1.9	0.0	2.2
東海	776	400	296	47	6	4	23	
	100.0	51.5	38.1	6.1	0.8	0.5	3.0	
京阪神	1056	558	384	71	7	5	31	
	100.0	52.8	36.4	6.7	0.7	0.5	2.9	
中国	372	206	133	20	5	0	8	
	100.0	55.4	35.8	5.4	1.3	0.0	2.2	
四国	182	93	71	11	1	1	5	
	100.0	51.1	39.0	6.0	0.5	0.5	2.7	
九州	724	394	262	38	9	3	18	
	100.0	54.4	36.2	5.2	1.2	0.4	2.5	
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	489	307	25	12	5	15
		100.0	57.3	36.0	2.9	1.4	0.6	1.8
	小学生	715	371	312	19	5	5	3
		100.0	51.9	43.6	2.7	0.7	0.7	0.4
	中学生	401	195	193	4	6	1	2
	100.0	48.6	48.1	1.0	1.5	0.2	0.5	
中学校卒業以上	1340	749	519	29	16	3	24	
	100.0	55.9	38.7	2.2	1.2	0.2	1.8	
同居している子どもはいない	3850	1944	1363	328	57	15	143	
	100.0	50.5	35.4	8.5	1.5	0.4	3.7	
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	196	111	15	3	3	10
		100.0	58.0	32.8	4.4	0.9	0.9	3.0
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	212	135	33	7	5	10
		100.0	52.7	33.6	8.2	1.7	1.2	2.5
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	187	168	9	6	1	4
		100.0	49.9	44.8	2.4	1.6	0.3	1.1
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	140	110	9	6	2	3	
	100.0	51.9	40.7	3.3	2.2	0.7	1.1	
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	2785	1949	334	70	13	157	
	100.0	52.5	36.7	6.3	1.3	0.2	3.0	
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	358	178	27	4	5	12
		100.0	61.3	30.5	4.6	0.7	0.9	2.1
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	1559	989	149	45	4	54
		100.0	55.7	35.3	5.3	1.6	0.1	1.9
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある	1949	1005	748	136	17	5	38	
	100.0	51.6	38.4	7.0	0.9	0.3	1.9	
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	505	498	83	23	10	77	
	100.0	42.2	41.6	6.9	1.9	0.8	6.4	

(3) 購入時重視点

「おいしさ」を重視する割合が高く、「安全性」は、「価格」、「鮮度」と同程度となっている。

Q2：あなたは、食品を購入する際に、以下の項目をどの程度重視されますか。（それぞれ1つずつ）



以下に、各項目について、性年代別及び食事の摂り方別のクロス集計結果を図示する。また、性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別の集計表を示す。

なお、数表中の「平均値」の算出に当たっては、以下のスコア配点を用いた。

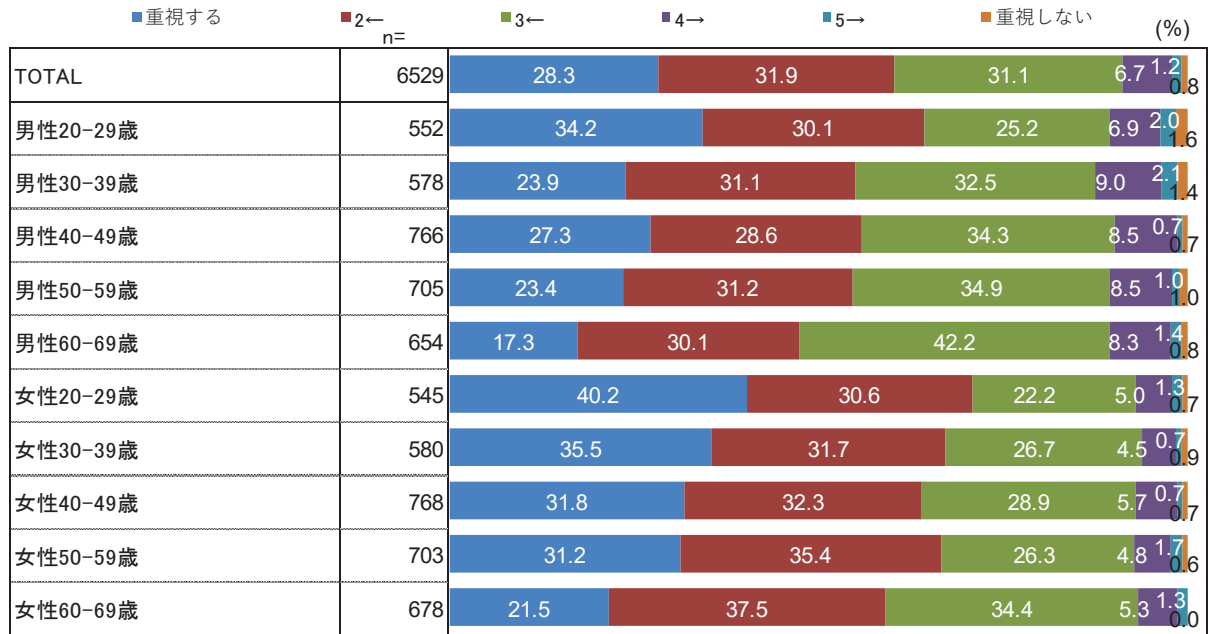
「平均値」のスコア配点

重視する	+3
2↑	+2
3↑	+1
4↓	-1
5↓	-2
重視しない	-3

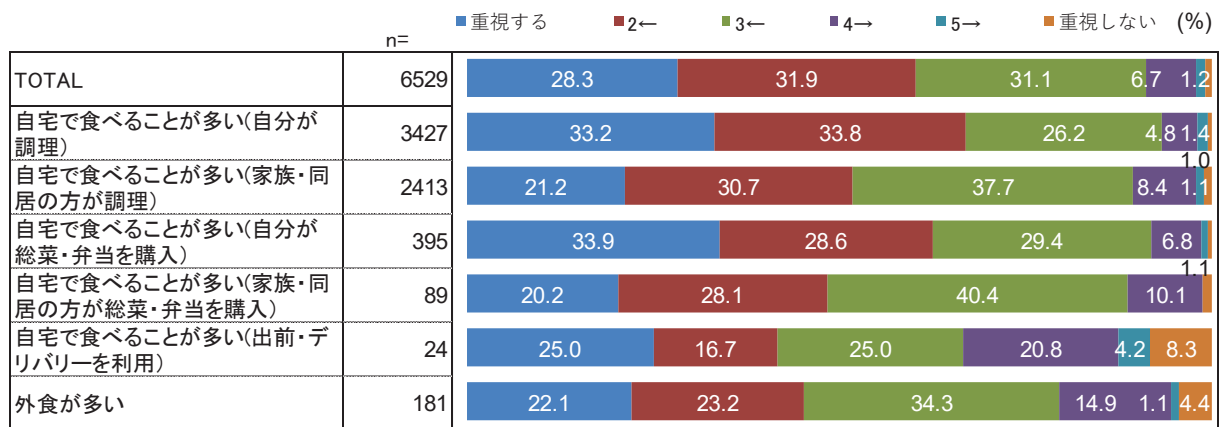
① 価格

性年代別にみると、男性よりも女性において、高年層より若年層において重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



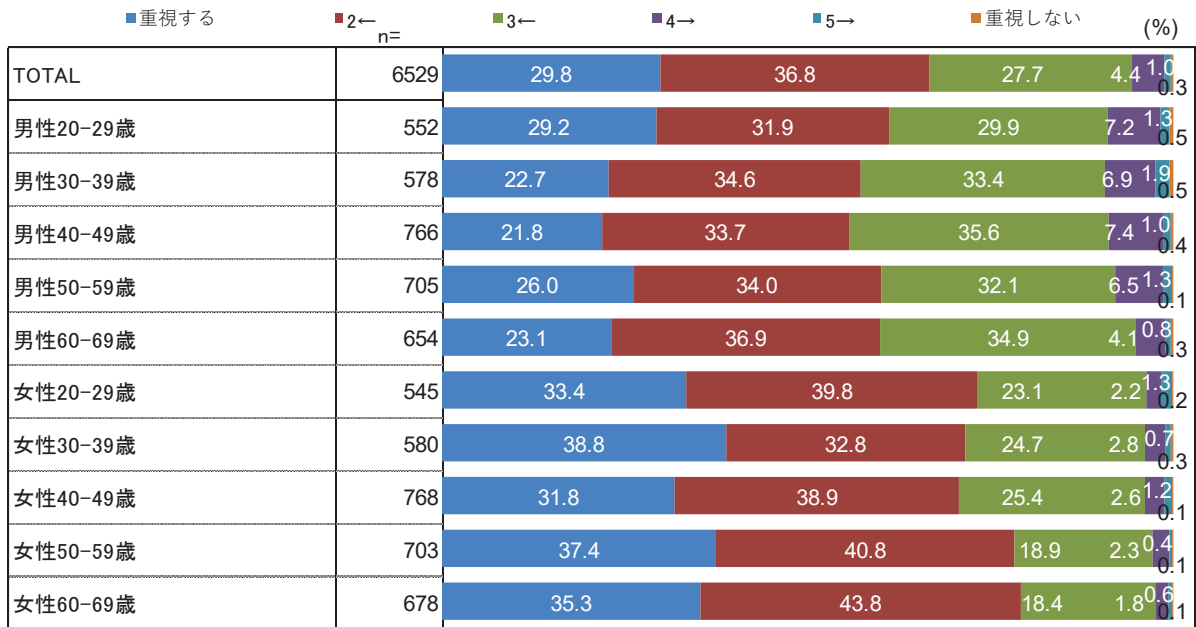
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

1段目 度数 2段目 横%	0	1	2	3	4	5	6	7	平均値	
	TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない			
TOTAL	6529	1848	2084	2028	436	81	52		1.68	
	100.0	28.3	31.9	31.1	6.7	1.2	0.8			
性別	男性	3255	814	982	1112	269	44	34	1.55	
		100.0	25.0	30.2	34.2	8.3	1.4	1.0		
女性	3274	1034	1102	916	167	37	18		1.81	
	100.0	31.6	33.7	28.0	5.1	1.1	0.5			
年代	20-29歳	1097	408	333	260	65	18	13	1.83	
		100.0	37.2	30.4	23.7	5.9	1.6	1.2		
	30-39歳	1158	344	364	343	78	16	13	1.69	
		100.0	29.7	31.4	29.6	6.7	1.4	1.1		
	40-49歳	1534	453	467	485	109	10	10	1.71	
		100.0	29.5	30.4	31.6	7.1	0.7	0.7		
50-59歳	1408	384	469	431	94	19	11	1.67		
	100.0	27.3	33.3	30.6	6.7	1.3	0.8			
	60-69歳	1332	259	451	509	90	18	5	1.54	
		100.0	19.4	33.9	38.2	6.8	1.4	0.4		
	性年代	男性20-29歳	552	189	166	139	38	11	9	1.72
			100.0	34.2	30.1	25.2	6.9	2.0	1.6	
男性30-39歳		578	138	180	188	52	12	8	1.49	
		100.0	23.9	31.1	32.5	9.0	2.1	1.4		
男性40-49歳		766	209	219	263	65	5	5	1.62	
		100.0	27.3	28.6	34.3	8.5	0.7	0.7		
男性50-59歳		705	165	220	246	60	7	7	1.54	
		100.0	23.4	31.2	34.9	8.5	1.0	1.0		
男性60-69歳		654	113	197	276	54	9	5	1.41	
		100.0	17.3	30.1	42.2	8.3	1.4	0.8		
女性20-29歳	545	219	167	121	27	7	4	1.94		
	100.0	40.2	30.6	22.2	5.0	1.3	0.7			
	女性30-39歳	580	206	184	155	26	4	5	1.88	
		100.0	35.5	31.7	26.7	4.5	0.7	0.9		
	女性40-49歳	768	244	248	222	44	5	5	1.80	
		100.0	31.8	32.3	28.9	5.7	0.7	0.7		
	女性50-59歳	703	219	249	185	34	12	4	1.81	
		100.0	31.2	35.4	26.3	4.8	1.7	0.6		
女性60-69歳	678	146	254	233	36	9	0	1.66		
	100.0	21.5	37.5	34.4	5.3	1.3	0.0			
地域	北海道	272	95	77	85	10	2	3	1.84	
		100.0	34.9	28.3	31.3	3.7	0.7	1.1		
	東北	432	141	139	117	24	6	5	1.78	
		100.0	32.6	32.2	27.1	5.6	1.4	1.2		
	関東	379	107	122	120	23	4	3	1.70	
		100.0	28.2	32.2	31.7	6.1	1.1	0.8		
	首都圏/一都三県	1977	546	609	633	149	28	12	1.64	
		100.0	27.6	30.8	32.0	7.5	1.4	0.6		
	北陸	359	98	124	98	30	6	3	1.64	
		100.0	27.3	34.5	27.3	8.4	1.7	0.8		
	東海	776	224	248	241	47	8	8	1.70	
		100.0	28.9	32.0	31.1	6.1	1.0	1.0		
京阪神	1056	278	358	325	78	10	7	1.66		
	100.0	26.3	33.9	30.8	7.4	0.9	0.7			
中国	372	102	119	116	29	4	2	1.66		
	100.0	27.4	32.0	31.2	7.8	1.1	0.5			
四国	182	45	58	64	13	2	0	1.64		
	100.0	24.7	31.9	35.2	7.1	1.1	0.0			
九州	724	212	230	229	33	11	9	1.72		
	100.0	29.3	31.8	31.6	4.6	1.5	1.2			
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	270	267	240	55	12	9	1.73	
		100.0	31.7	31.3	28.1	6.4	1.4	1.1		
	小学生	715	195	226	229	51	6	8	1.65	
		100.0	27.3	31.6	32.0	7.1	0.8	1.1		
	中学生	401	124	132	118	21	3	3	1.79	
	100.0	30.9	32.9	29.4	5.2	0.7	0.7			
中学校卒業以上	1340	357	459	426	80	12	6	1.71		
	100.0	26.6	34.3	31.8	6.0	0.9	0.4			
同居している子どもはいない	3850	1102	1200	1201	264	51	32	1.67		
	100.0	28.6	31.2	31.2	6.9	1.3	0.8			
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	124	96	86	19	9	4	1.78	
		100.0	36.7	28.4	25.4	5.6	2.7	1.2		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	111	127	131	26	4	3	1.68	
		100.0	27.6	31.6	32.6	6.5	1.0	0.7		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	103	100	144	25	1	2	1.65	
		100.0	27.5	26.7	38.4	6.7	0.3	0.5		
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	77	86	97	7	2	1	1.80		
	100.0	28.5	31.9	35.9	2.6	0.7	0.4			
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	1482	1726	1626	366	66	42	1.68		
	100.0	27.9	32.5	30.6	6.9	1.2	0.8			
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	205	168	140	55	10	6	1.71	
		100.0	35.1	28.8	24.0	9.4	1.7	1.0		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	744	932	911	158	41	14	1.69	
		100.0	26.6	33.3	32.5	5.6	1.5	0.5		
	自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある	1949	516	670	630	108	16	9	1.72	
	100.0	26.5	34.4	32.3	5.5	0.8	0.5			
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	383	314	347	115	14	23	1.60		
	100.0	32.0	26.3	29.0	9.6	1.2	1.9			

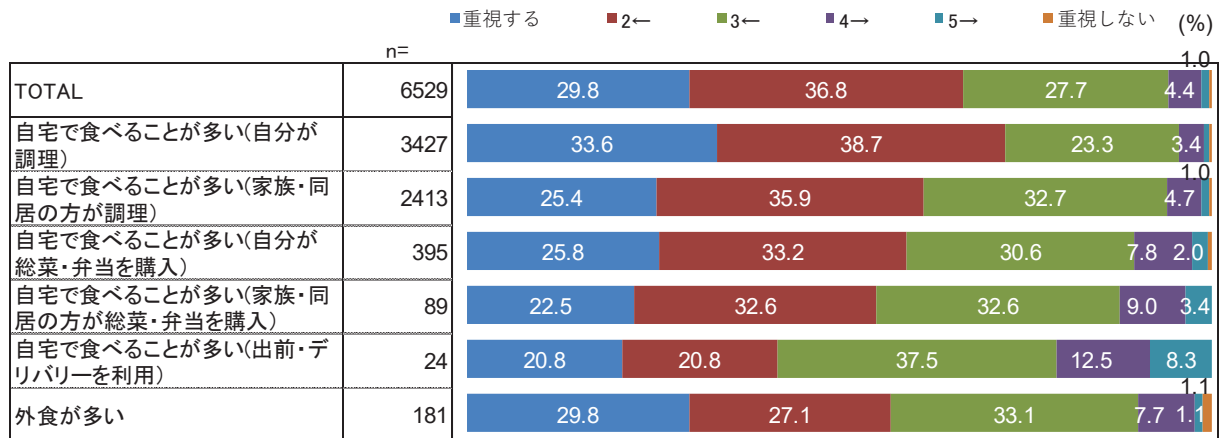
② おいしさ

性年代別にみると、男性よりも女性において重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



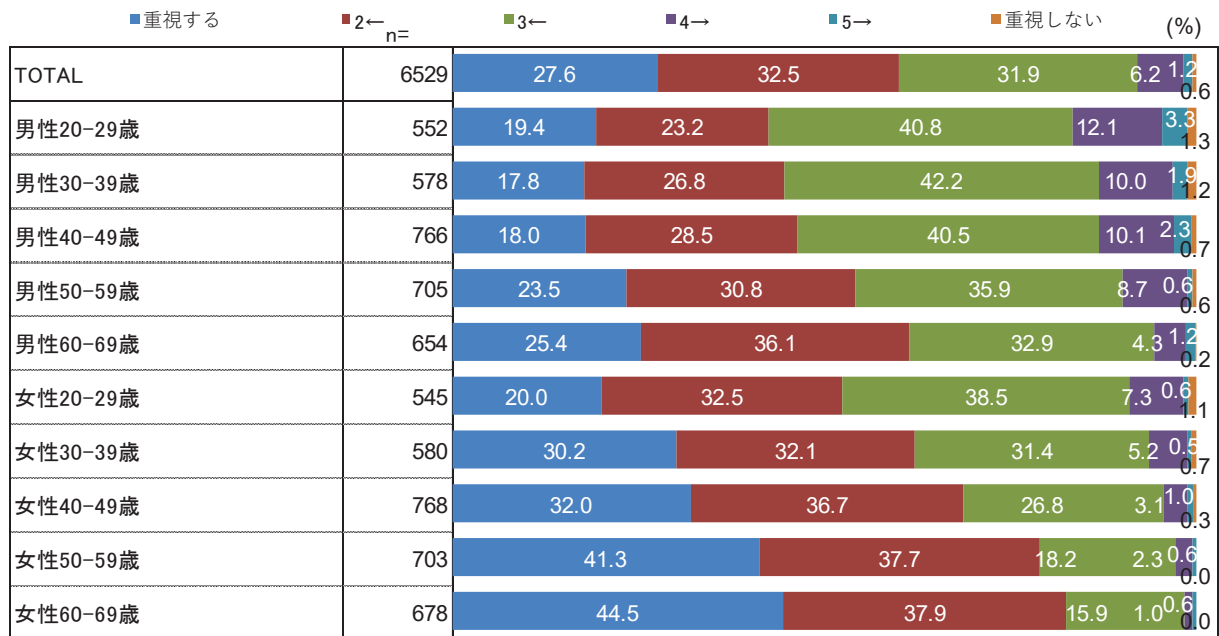
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段目	度数									
2段目	横%									
	TOTAL	6529	1946	2405	1807	286	67	18	1.84	
		100.0	29.8	36.8	27.7	4.4	1.0	0.3		
性別	男性	3255	793	1115	1085	210	40	12	1.65	
		100.0	24.4	34.3	33.3	6.5	1.2	0.4		
性別	女性	3274	1153	1290	722	76	27	6	2.02	
		100.0	35.2	39.4	22.1	2.3	0.8	0.2		
年代	20-29歳	1097	343	393	291	52	14	4	1.84	
		100.0	31.3	35.8	26.5	4.7	1.3	0.4		
	30-39歳	1158	356	390	336	56	15	5	1.80	
		100.0	30.7	33.7	29.0	4.8	1.3	0.4		
	40-49歳	1534	411	557	468	77	17	4	1.75	
		100.0	26.8	36.3	30.5	5.0	1.1	0.3		
年代	50-59歳	1408	446	527	359	62	12	2	1.89	
		100.0	31.7	37.4	25.5	4.4	0.9	0.1		
	60-69歳	1332	390	538	353	39	9	3	1.90	
		100.0	29.3	40.4	26.5	2.9	0.7	0.2		
	性年代	男性20-29歳	552	161	176	165	40	7	3	1.70
			100.0	29.2	31.9	29.9	7.2	1.3	0.5	
性年代	男性30-39歳	578	131	200	193	40	11	3	1.58	
		100.0	22.7	34.6	33.4	6.9	1.9	0.5		
性年代	男性40-49歳	766	167	258	273	57	8	3	1.58	
		100.0	21.8	33.7	35.6	7.4	1.0	0.4		
性年代	男性50-59歳	705	183	240	226	46	9	1	1.69	
		100.0	26.0	34.0	32.1	6.5	1.3	0.1		
性年代	男性60-69歳	654	151	241	228	27	5	2	1.71	
		100.0	23.1	36.9	34.9	4.1	0.8	0.3		
性年代	女性20-29歳	545	182	217	126	12	7	1	1.98	
		100.0	33.4	39.8	23.1	2.2	1.3	0.2		
性年代	女性30-39歳	580	225	190	143	16	4	2	2.01	
		100.0	38.8	32.8	24.7	2.8	0.7	0.3		
性年代	女性40-49歳	768	244	299	195	20	9	1	1.93	
		100.0	31.8	38.9	25.4	2.6	1.2	0.1		
性年代	女性50-59歳	703	263	287	133	16	3	1	2.09	
		100.0	37.4	40.8	18.9	2.3	0.4	0.1		
性年代	女性60-69歳	678	239	297	125	12	4	1	2.08	
		100.0	35.3	43.8	18.4	1.8	0.6	0.1		
地域	北海道	272	90	93	75	12	2	0	1.89	
		100.0	33.1	34.2	27.6	4.4	0.7	0.0		
	東北	432	130	152	119	22	8	1	1.79	
		100.0	30.1	35.2	27.5	5.1	1.9	0.2		
	関東	379	110	142	111	16	0	0	1.87	
		100.0	29.0	37.5	29.3	4.2	0.0	0.0		
	首都圏/一都三県	1977	595	731	533	96	15	7	1.84	
		100.0	30.1	37.0	27.0	4.9	0.8	0.4		
	北陸	359	97	139	104	16	3	0	1.81	
		100.0	27.0	38.7	29.0	4.5	0.8	0.0		
地域	東海	776	238	262	228	39	8	1	1.81	
		100.0	30.7	33.8	29.4	5.0	1.0	0.1		
地域	京阪神	1056	309	408	287	38	10	4	1.86	
		100.0	29.3	38.6	27.2	3.6	0.9	0.4		
地域	中国	372	106	135	102	20	8	1	1.75	
		100.0	28.5	36.3	27.4	5.4	2.2	0.3		
地域	四国	182	47	63	61	8	2	1	1.72	
		100.0	25.8	34.6	33.5	4.4	1.1	0.5		
地域	九州	724	224	280	187	19	11	3	1.89	
		100.0	30.9	38.7	25.8	2.6	1.5	0.4		
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	259	293	255	36	10	0	1.83	
		100.0	30.4	34.3	29.9	4.2	1.2	0.0		
	小学生	715	180	273	219	35	8	0	1.75	
		100.0	25.2	38.2	30.6	4.9	1.1	0.0		
	中学生	401	112	146	122	18	2	1	1.81	
	100.0	27.9	36.4	30.4	4.5	0.5	0.2			
同居子ども学齢	中学校卒業以上	1340	402	513	365	49	7	4	1.88	
		100.0	30.0	38.3	27.2	3.7	0.5	0.3		
同居子ども学齢	同居している子どもはいない	3850	1159	1409	1054	171	43	14	1.83	
		100.0	30.1	36.6	27.4	4.4	1.1	0.4		
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	121	112	78	19	8	0	1.86	
		100.0	35.8	33.1	23.1	5.6	2.4	0.0		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	129	146	96	22	8	1	1.83	
		100.0	32.1	36.3	23.9	5.5	2.0	0.2		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	107	139	112	13	4	0	1.84	
		100.0	28.5	37.1	29.9	3.5	1.1	0.0		
食物アレルギー保有者	同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	81	98	78	11	2	0	1.86	
		100.0	30.0	36.3	28.9	4.1	0.7	0.0		
食物アレルギー保有者	あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	1564	1973	1476	229	49	17	1.83	
		100.0	29.5	37.2	27.8	4.3	0.9	0.3		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	250	192	114	22	2	4	2.07	
		100.0	42.8	32.9	19.5	3.8	0.3	0.7		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	889	1086	694	97	31	3	1.92	
		100.0	31.8	38.8	24.8	3.5	1.1	0.1		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある	1949	517	756	575	82	16	3	1.80	
		100.0	26.5	38.8	29.5	4.2	0.8	0.2		
情報収集積極度	食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	290	371	424	85	18	8	1.58	
		100.0	24.2	31.0	35.5	7.1	1.5	0.7		

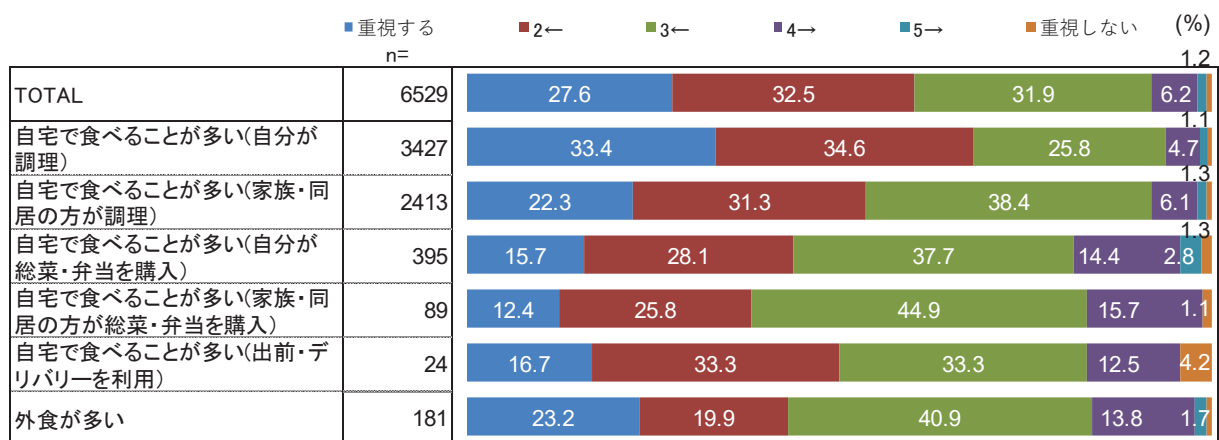
③ 鮮度

性年代別にみると、男性よりも女性において、若年層より高年層において重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



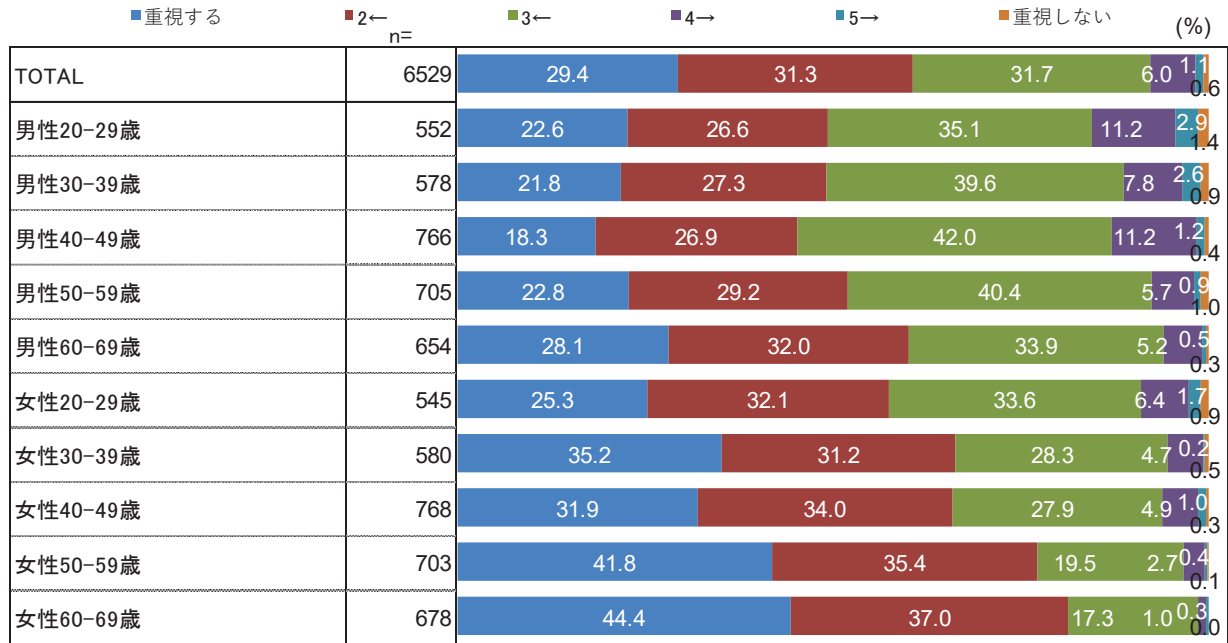
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段目	度数									
2段目	横%									
	TOTAL	6529	1802	2121	2081	408	81	36	1.69	
		100.0	27.6	32.5	31.9	6.2	1.2	0.6		
性別	男性	3255	680	954	1247	291	59	24	1.45	
		100.0	20.9	29.3	38.3	8.9	1.8	0.7		
性別	女性	3274	1122	1167	834	117	22	12	1.94	
		100.0	34.3	35.6	25.5	3.6	0.7	0.4		
年代	20-29歳	1097	216	305	435	107	21	13	1.37	
		100.0	19.7	27.8	39.7	9.8	1.9	1.2		
	30-39歳	1158	278	341	426	88	14	11	1.55	
		100.0	24.0	29.4	36.8	7.6	1.2	0.9		
	40-49歳	1534	384	500	516	101	26	7	1.63	
		100.0	25.0	32.6	33.6	6.6	1.7	0.5		
年代	50-59歳	1408	456	482	381	77	8	4	1.85	
		100.0	32.4	34.2	27.1	5.5	0.6	0.3		
	60-69歳	1332	468	493	323	35	12	1	1.99	
		100.0	35.1	37.0	24.2	2.6	0.9	0.1		
	性年代	男性20-29歳	552	107	128	225	67	18	7	1.23
			100.0	19.4	23.2	40.8	12.1	3.3	1.3	
性年代	男性30-39歳	578	103	155	244	58	11	7	1.32	
		100.0	17.8	26.8	42.2	10.0	1.9	1.2		
性年代	男性40-49歳	766	138	218	310	77	18	5	1.35	
		100.0	18.0	28.5	40.5	10.1	2.3	0.7		
性年代	男性50-59歳	705	166	217	253	61	4	4	1.57	
		100.0	23.5	30.8	35.9	8.7	0.6	0.6		
性年代	男性60-69歳	654	166	236	215	28	8	1	1.74	
		100.0	25.4	36.1	32.9	4.3	1.2	0.2		
性年代	女性20-29歳	545	109	177	210	40	3	6	1.52	
		100.0	20.0	32.5	38.5	7.3	0.6	1.1		
性年代	女性30-39歳	580	175	186	182	30	3	4	1.78	
		100.0	30.2	32.1	31.4	5.2	0.5	0.7		
性年代	女性40-49歳	768	246	282	206	24	8	2	1.90	
		100.0	32.0	36.7	26.8	3.1	1.0	0.3		
性年代	女性50-59歳	703	290	265	128	16	4	0	2.14	
		100.0	41.3	37.7	18.2	2.3	0.6	0.0		
性年代	女性60-69歳	678	302	257	108	7	4	0	2.23	
		100.0	44.5	37.9	15.9	1.0	0.6	0.0		
地域	北海道	272	80	75	97	16	2	2	1.69	
		100.0	29.4	27.6	35.7	5.9	0.7	0.7		
	東北	432	119	142	132	27	10	2	1.67	
		100.0	27.5	32.9	30.6	6.3	2.3	0.5		
	関東	379	109	128	115	22	5	0	1.76	
		100.0	28.8	33.8	30.3	5.8	1.3	0.0		
	首都圏/一都三県	1977	535	642	624	142	21	13	1.66	
		100.0	27.1	32.5	31.6	7.2	1.1	0.7		
	北陸	359	102	106	123	20	5	3	1.68	
		100.0	28.4	29.5	34.3	5.6	1.4	0.8		
	東海	776	207	248	252	58	7	4	1.66	
		100.0	26.7	32.0	32.5	7.5	0.9	0.5		
地域	京阪神	1056	281	348	348	59	13	7	1.69	
		100.0	26.6	33.0	33.0	5.6	1.2	0.7		
	中国	372	97	117	128	22	6	2	1.65	
		100.0	26.1	31.5	34.4	5.9	1.6	0.5		
地域	四国	182	52	62	57	8	2	1	1.77	
		100.0	28.6	34.1	31.3	4.4	1.1	0.5		
地域	九州	724	220	253	205	34	10	2	1.81	
		100.0	30.4	34.9	28.3	4.7	1.4	0.3		
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	216	285	282	57	10	3	1.66	
		100.0	25.3	33.4	33.1	6.7	1.2	0.4		
	小学生	715	186	227	254	37	11	0	1.69	
		100.0	26.0	31.7	35.5	5.2	1.5	0.0		
	中学生	401	111	124	139	21	5	1	1.71	
		100.0	27.7	30.9	34.7	5.2	1.2	0.2		
同居子ども学齢	中学校卒業以上	1340	433	455	384	51	12	5	1.87	
		100.0	32.3	34.0	28.7	3.8	0.9	0.4		
同居子ども学齢	同居している子どもはいない	3850	1027	1228	1243	272	52	28	1.64	
		100.0	26.7	31.9	32.3	7.1	1.4	0.7		
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	113	90	104	22	7	2	1.72	
		100.0	33.4	26.6	30.8	6.5	2.1	0.6		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	114	132	121	29	4	2	1.70	
		100.0	28.4	32.8	30.1	7.2	1.0	0.5		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	108	96	147	17	5	2	1.68	
		100.0	28.8	25.6	39.2	4.5	1.3	0.5		
食物アレルギー保有者	同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	73	101	77	16	2	1	1.76	
		100.0	27.0	37.4	28.5	5.9	0.7	0.4		
食物アレルギー保有者	あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	1452	1750	1678	332	66	30	1.69	
		100.0	27.4	33.0	31.6	6.3	1.2	0.6		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	243	185	125	24	3	4	2.02	
		100.0	41.6	31.7	21.4	4.1	0.5	0.7		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	859	966	793	139	35	8	1.81	
		100.0	30.7	34.5	28.3	5.0	1.3	0.3		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある	1949	473	670	661	121	18	6	1.66	
		100.0	24.3	34.4	33.9	6.2	0.9	0.3		
情報収集積極度	食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	227	300	502	124	25	18	1.30	
		100.0	19.0	25.1	42.0	10.4	2.1	1.5		

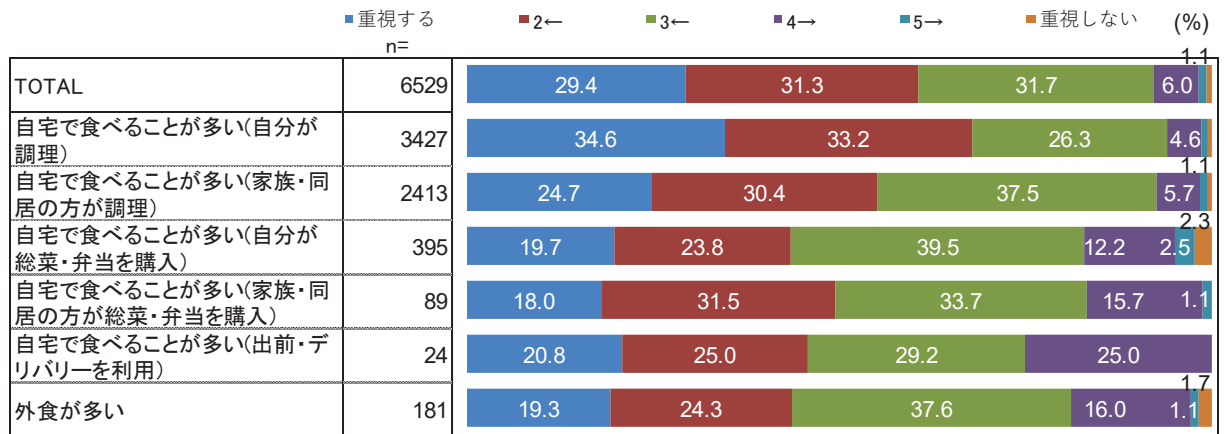
④ 安全性

性年代別にみると、男性よりも女性において、若年層より高年層において重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



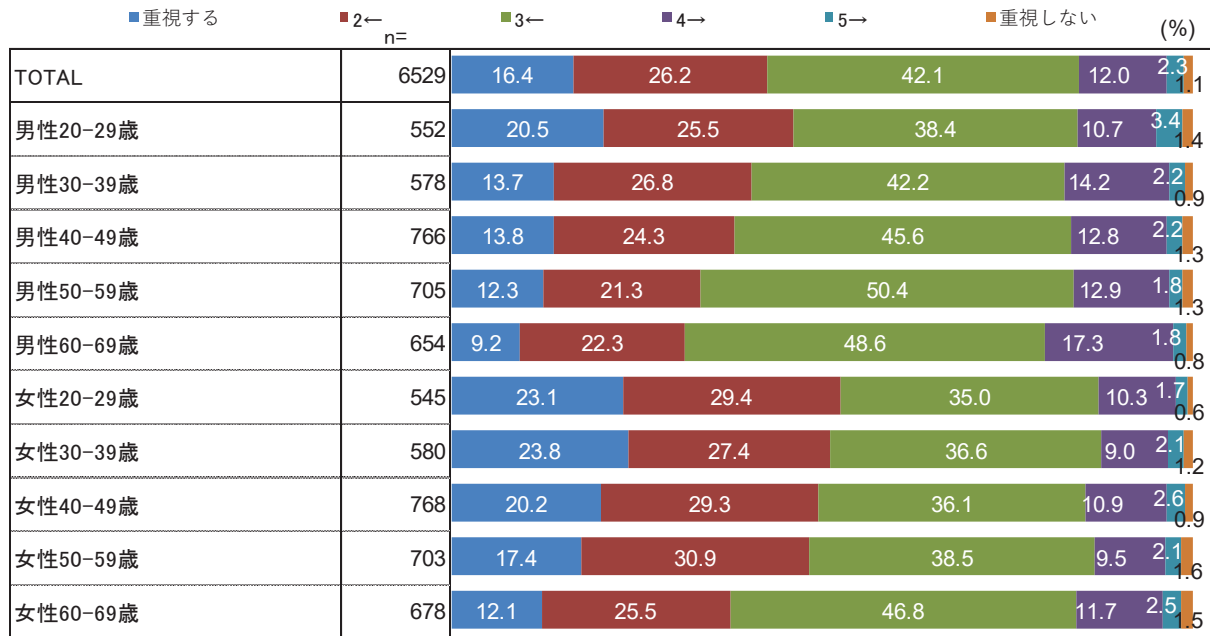
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7		
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値		
1段目	度数										
2段目	横%										
	TOTAL	6529	1918	2043	2067	393	72	36		1.72	
		100.0	29.4	31.3	31.7	6.0	1.1	0.6			
性別	男性	3255	736	926	1252	267	49	25		1.50	
		100.0	22.6	28.4	38.5	8.2	1.5	0.8			
性別	女性	3274	1182	1117	815	126	23	11		1.95	
		100.0	36.1	34.1	24.9	3.8	0.7	0.3			
年代	20-29歳	1097	263	322	377	97	25	13		1.48	
		100.0	24.0	29.4	34.4	8.8	2.3	1.2			
	30-39歳	1158	330	339	393	72	16	8		1.67	
		100.0	28.5	29.3	33.9	6.2	1.4	0.7			
	40-49歳	1534	385	467	536	124	17	5		1.60	
		100.0	25.1	30.4	34.9	8.1	1.1	0.3			
年代	50-59歳	1408	455	455	422	59	9	8		1.84	
		100.0	32.3	32.3	30.0	4.2	0.6	0.6			
	60-69歳	1332	485	460	339	41	5	2		1.99	
		100.0	36.4	34.5	25.5	3.1	0.4	0.2			
	性年代	男性20-29歳	552	125	147	194	62	16	8		1.35
			100.0	22.6	26.6	35.1	11.2	2.9	1.4		
男性30-39歳		578	126	158	229	45	15	5		1.44	
		100.0	21.8	27.3	39.6	7.8	2.6	0.9			
男性40-49歳		766	140	206	322	86	9	3		1.36	
		100.0	18.3	26.9	42.0	11.2	1.2	0.4			
男性50-59歳		705	161	206	285	40	6	7		1.57	
		100.0	22.8	29.2	40.4	5.7	0.9	1.0			
男性60-69歳		654	184	209	222	34	3	2		1.75	
		100.0	28.1	32.0	33.9	5.2	0.5	0.3			
女性20-29歳		545	138	175	183	35	9	5		1.61	
		100.0	25.3	32.1	33.6	6.4	1.7	0.9			
地域	北海道	272	76	71	103	16	3	3		1.63	
		100.0	27.9	26.1	37.9	5.9	1.1	1.1			
	東北	432	129	140	127	26	8	2		1.73	
		100.0	29.9	32.4	29.4	6.0	1.9	0.5			
	関東	379	113	130	116	16	3	1		1.82	
		100.0	29.8	34.3	30.6	4.2	0.8	0.3			
	首都圏/一都三県	1977	559	619	634	130	23	12		1.69	
		100.0	28.3	31.3	32.1	6.6	1.2	0.6			
	北陸	359	104	111	116	20	3	5		1.70	
		100.0	29.0	30.9	32.3	5.6	0.8	1.4			
	東海	776	229	223	261	51	9	3		1.70	
		100.0	29.5	28.7	33.6	6.6	1.2	0.4			
京阪神	1056	322	333	319	68	9	5		1.75		
	100.0	30.5	31.5	30.2	6.4	0.9	0.5				
中国	372	101	123	118	24	3	3		1.69		
	100.0	27.2	33.1	31.7	6.5	0.8	0.8				
四国	182	54	57	58	7	5	1		1.73		
	100.0	29.7	31.3	31.9	3.8	2.7	0.5				
九州	724	231	236	215	35	6	1		1.84		
	100.0	31.9	32.6	29.7	4.8	0.8	0.1				
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	252	269	269	49	12	2		1.74	
		100.0	29.5	31.5	31.5	5.7	1.4	0.2			
	小学生	715	208	213	241	46	6	1		1.72	
		100.0	29.1	29.8	33.7	6.4	0.8	0.1			
	中学生	401	113	118	146	21	2	1		1.73	
		100.0	28.2	29.4	36.4	5.2	0.5	0.2			
中学校卒業以上	1340	443	445	380	57	10	5		1.87		
	100.0	33.1	33.2	28.4	4.3	0.7	0.4				
同居している子どもはいない	3850	1087	1181	1249	259	45	29		1.67		
	100.0	28.2	30.7	32.4	6.7	1.2	0.8				
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	128	90	91	20	6	3		1.82	
		100.0	37.9	26.6	26.9	5.9	1.8	0.9			
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	138	134	95	29	5	1		1.83	
		100.0	34.3	33.3	23.6	7.2	1.2	0.2			
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	120	102	133	14	5	1		1.79	
		100.0	32.0	27.2	35.5	3.7	1.3	0.3			
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	81	86	85	16	2	0		1.78		
	100.0	30.0	31.9	31.5	5.9	0.7	0.0				
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	1513	1680	1704	322	57	32		1.71		
	100.0	28.5	31.7	32.1	6.1	1.1	0.6				
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	285	152	116	23	5	3		2.11	
		100.0	48.8	26.0	19.9	3.9	0.9	0.5			
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	914	969	771	114	28	4		1.88	
		100.0	32.6	34.6	27.5	4.1	1.0	0.1			
	自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にするがある	1949	489	638	678	118	15	11		1.66	
		100.0	25.1	32.7	34.8	6.1	0.8	0.6			
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	230	284	502	138	24	18		1.27		
	100.0	19.2	23.7	42.0	11.5	2.0	1.5				

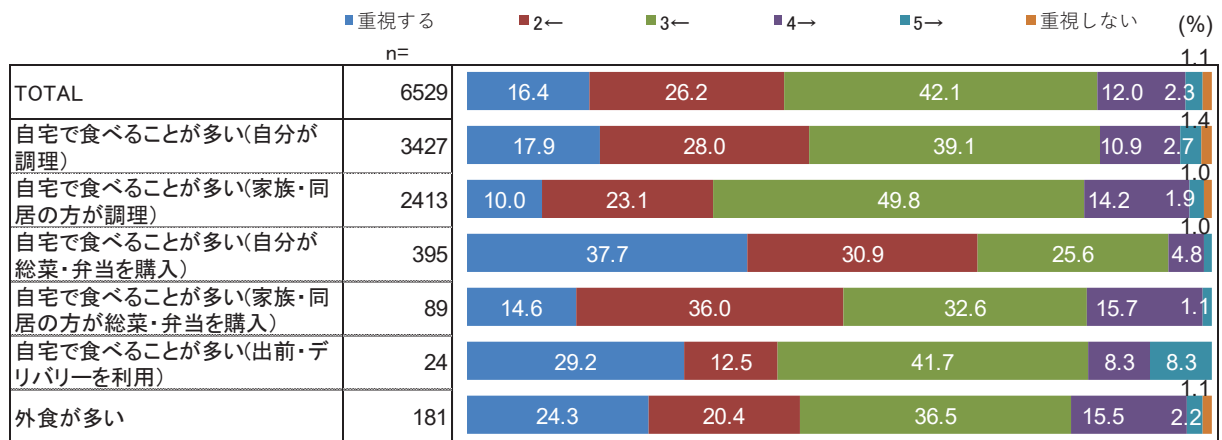
⑤ 簡便性（料理の手間がかからない）

性年代別にみると、男性よりも女性において、高年層より若年層において重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



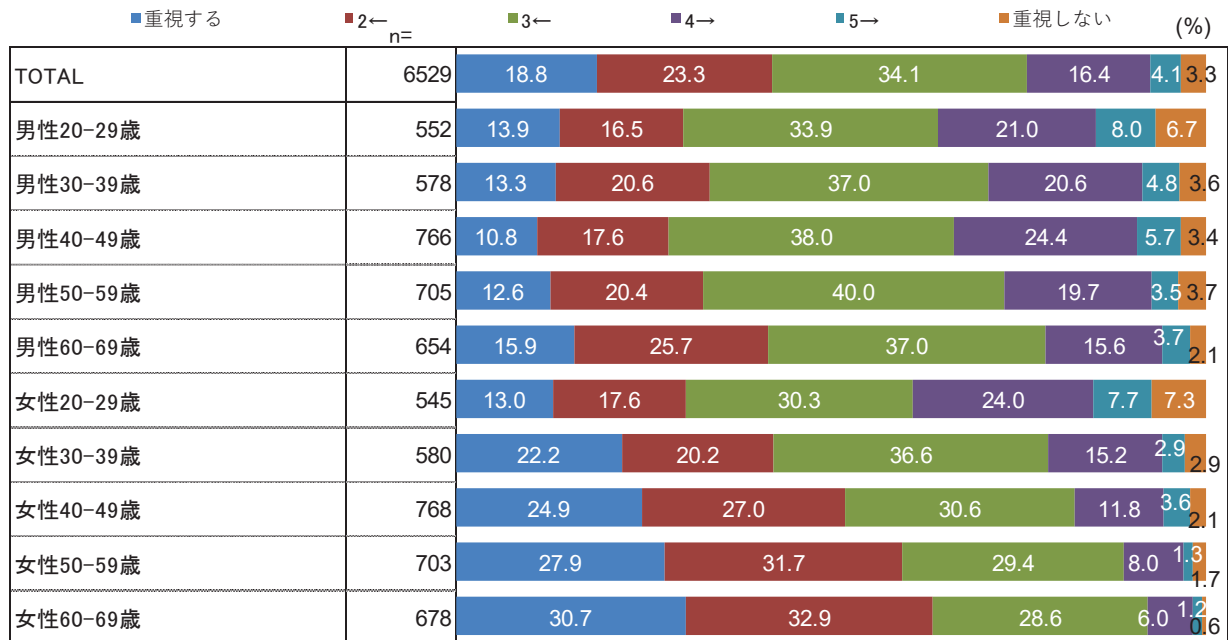
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段目 度数	2段目 横%									
TOTAL		6529	1068	1712	2746	781	147	75	1.24	
		100.0	16.4	26.2	42.1	12.0	2.3	1.1		
性別	男性	3255	445	778	1478	443	74	37	1.13	
		100.0	13.7	23.9	45.4	13.6	2.3	1.1		
性別	女性	3274	623	934	1268	338	73	38	1.35	
		100.0	19.0	28.5	38.7	10.3	2.2	1.2		
年代	20-29歳	1097	239	301	403	115	28	11	1.38	
		100.0	21.8	27.4	36.7	10.5	2.6	1.0		
	30-39歳	1158	217	314	456	134	25	12	1.31	
		100.0	18.7	27.1	39.4	11.6	2.2	1.0		
	40-49歳	1534	261	411	626	182	37	17	1.25	
		100.0	17.0	26.8	40.8	11.9	2.4	1.1		
年代	50-59歳	1408	209	367	626	158	28	20	1.22	
		100.0	14.8	26.1	44.5	11.2	2.0	1.4		
	60-69歳	1332	142	319	635	192	29	15	1.05	
		100.0	10.7	23.9	47.7	14.4	2.2	1.1		
	性年代	男性20-29歳	552	113	141	212	59	19	8	1.29
			100.0	20.5	25.5	38.4	10.7	3.4	1.4	
男性30-39歳		578	79	155	244	82	13	5	1.16	
		100.0	13.7	26.8	42.2	14.2	2.2	0.9		
男性40-49歳		766	106	186	349	98	17	10	1.14	
		100.0	13.8	24.3	45.6	12.8	2.2	1.3		
男性50-59歳		705	87	150	355	91	13	9	1.10	
		100.0	12.3	21.3	50.4	12.9	1.8	1.3		
男性60-69歳		654	60	146	318	113	12	5	0.98	
		100.0	9.2	22.3	48.6	17.3	1.8	0.8		
女性20-29歳		545	126	160	191	56	9	3	1.48	
		100.0	23.1	29.4	35.0	10.3	1.7	0.6		
性年代	女性30-39歳	580	138	159	212	52	12	7	1.46	
		100.0	23.8	27.4	36.6	9.0	2.1	1.2		
	女性40-49歳	768	155	225	277	84	20	7	1.36	
		100.0	20.2	29.3	36.1	10.9	2.6	0.9		
	女性50-59歳	703	122	217	271	67	15	11	1.34	
		100.0	17.4	30.9	38.5	9.5	2.1	1.6		
	女性60-69歳	678	82	173	317	79	17	10	1.13	
		100.0	12.1	25.5	46.8	11.7	2.5	1.5		
	地域	北海道	272	51	58	115	35	6	7	1.16
			100.0	18.8	21.3	42.3	12.9	2.2	2.6	
		東北	432	77	112	181	49	9	4	1.29
			100.0	17.8	25.9	41.9	11.3	2.1	0.9	
関東		379	69	118	144	39	9	0	1.40	
		100.0	18.2	31.1	38.0	10.3	2.4	0.0		
首都圏/一都三県		1977	323	507	828	244	48	27	1.21	
		100.0	16.3	25.6	41.9	12.3	2.4	1.4		
北陸		359	54	99	150	46	6	4	1.23	
		100.0	15.0	27.6	41.8	12.8	1.7	1.1		
東海		776	119	200	343	96	15	3	1.24	
		100.0	15.3	25.8	44.2	12.4	1.9	0.4		
京阪神	1056	163	282	448	123	27	13	1.22		
	100.0	15.4	26.7	42.4	11.6	2.6	1.2			
地域	中国	372	62	88	169	44	6	3	1.25	
		100.0	16.7	23.7	45.4	11.8	1.6	0.8		
	四国	182	29	38	80	24	4	7	1.04	
		100.0	15.9	20.9	44.0	13.2	2.2	3.8		
	九州	724	121	210	288	81	17	7	1.29	
		100.0	16.7	29.0	39.8	11.2	2.3	1.0		
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	159	219	344	104	22	5	1.28	
		100.0	18.6	25.7	40.3	12.2	2.6	0.6		
	小学生	715	103	187	311	87	21	6	1.18	
		100.0	14.4	26.2	43.5	12.2	2.9	0.8		
	中学生	401	61	102	168	50	13	7	1.14	
		100.0	15.2	25.4	41.9	12.5	3.2	1.7		
同居子ども学齢	中学校卒業以上	1340	172	348	606	162	35	17	1.15	
		100.0	12.8	26.0	45.2	12.1	2.6	1.3		
	同居している子どもはいない	3850	674	1014	1588	449	77	48	1.27	
		100.0	17.5	26.3	41.2	11.7	2.0	1.2		
	食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	80	77	127	38	11	5	1.32
			100.0	23.7	22.8	37.6	11.2	3.3	1.5	
あなた自身(医師からの診断を受けていない)		402	74	108	160	44	11	5	1.29	
		100.0	18.4	26.9	39.8	10.9	2.7	1.2		
同居の方(医師からの診断を受けている)		375	58	90	157	53	9	8	1.11	
		100.0	15.5	24.0	41.9	14.1	2.4	2.1		
食物アレルギー保有者	同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	36	69	122	37	4	2	1.17	
		100.0	13.3	25.6	45.2	13.7	1.5	0.7		
	あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	855	1405	2250	628	114	56	1.24	
		100.0	16.1	26.5	42.4	11.8	2.1	1.1		
	情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	136	135	225	57	19	12	1.32
			100.0	23.3	23.1	38.5	9.8	3.3	2.1	
気になったときに自分で情報を収集している		2800	413	744	1180	358	68	37	1.18	
		100.0	14.8	26.6	42.1	12.8	2.4	1.3		
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある		1949	282	541	835	235	43	13	1.23	
		100.0	14.5	27.8	42.8	12.1	2.2	0.7		
情報収集積極度	食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	237	292	506	131	17	13	1.34	
		100.0	19.8	24.4	42.3	11.0	1.4	1.1		

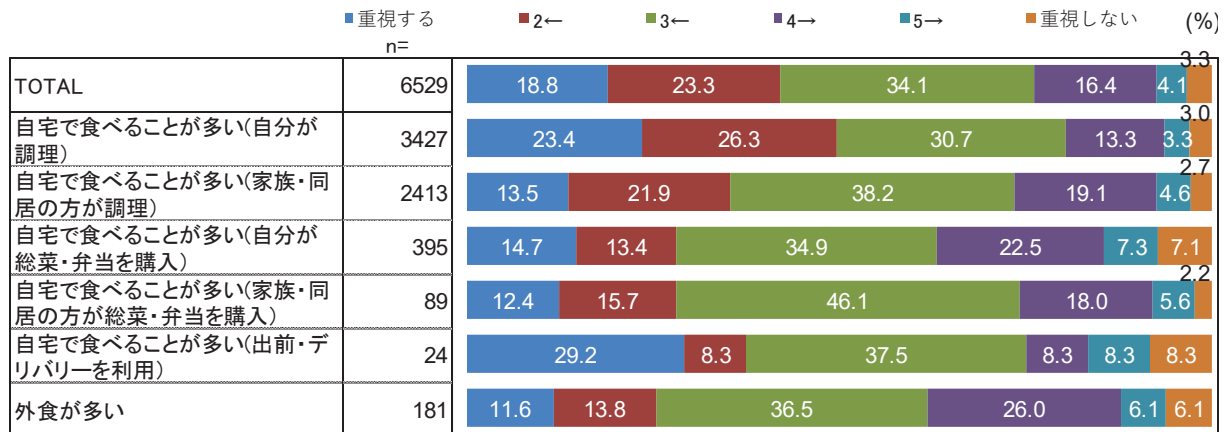
⑥ 産地（国産・外国産等）

性年代別にみると、男性よりも女性のほうが重視する傾向がみられる。女性では若年層よりも高年層のほうが重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



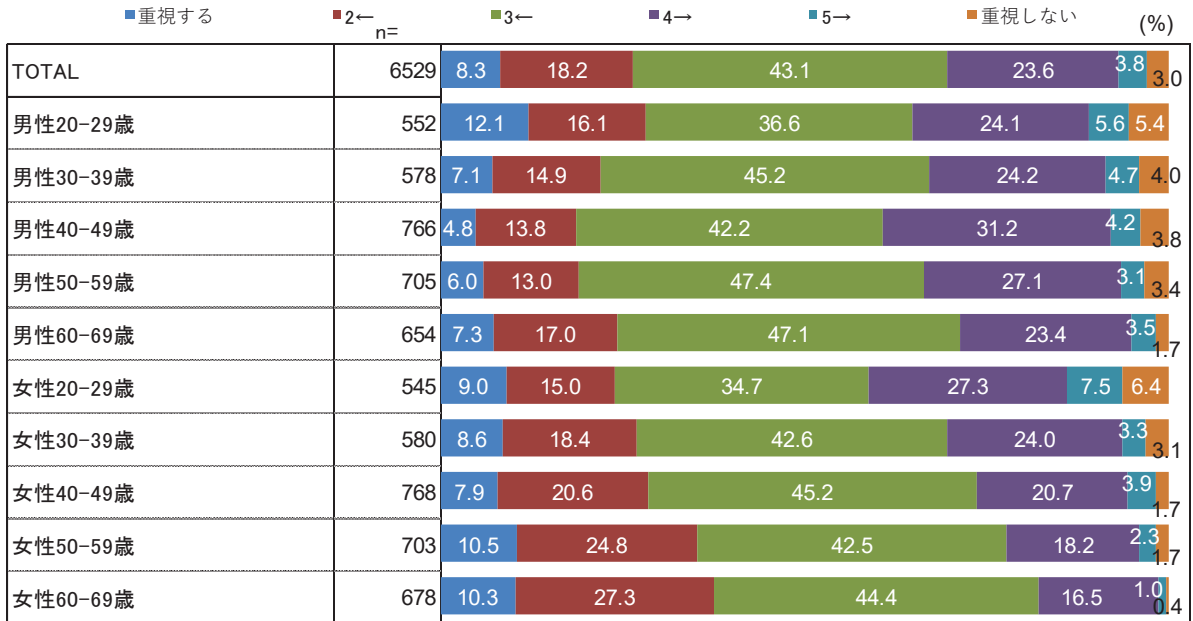
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7		
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値		
1段目	度数										
2段目	横%										
	TOTAL	6529	1225	1523	2229	1070	269	213		1.03	
性別	男性	3255	430	657	1216	663	165	124		0.75	
	女性	3274	795	866	1013	407	104	89		1.30	
年代	20-29歳	1097	148	187	352	247	86	77		0.47	
		100.0	13.5	17.0	32.1	22.5	7.8	7.0			
	30-39歳	1158	206	236	426	207	45	38		0.95	
		100.0	17.8	20.4	36.8	17.9	3.9	3.3			
	40-49歳	1534	274	342	526	278	72	42		0.97	
		100.0	17.9	22.3	34.3	18.1	4.7	2.7			
年代	50-59歳	1408	285	367	489	195	34	38		1.21	
		100.0	20.2	26.1	34.7	13.8	2.4	2.7			
	60-69歳	1332	312	391	436	143	32	18		1.42	
		100.0	23.4	29.4	32.7	10.7	2.4	1.4			
	性年代	男性20-29歳	552	77	91	187	116	44	37		0.52
			100.0	13.9	16.5	33.9	21.0	8.0	6.7		
男性30-39歳		578	77	119	214	119	28	21		0.77	
		100.0	13.3	20.6	37.0	20.6	4.8	3.6			
男性40-49歳		766	83	135	291	187	44	26		0.60	
		100.0	10.8	17.6	38.0	24.4	5.7	3.4			
男性50-59歳		705	89	144	282	139	25	26		0.81	
		100.0	12.6	20.4	40.0	19.7	3.5	3.7			
男性60-69歳		654	104	168	242	102	24	14		1.07	
		100.0	15.9	25.7	37.0	15.6	3.7	2.1			
女性20-29歳		545	71	96	165	131	42	40		0.43	
		100.0	13.0	17.6	30.3	24.0	7.7	7.3			
地域	北海道	272	55	60	91	43	10	13		1.01	
		100.0	20.2	22.1	33.5	15.8	3.7	4.8			
	東北	432	73	93	139	85	29	13		0.84	
		100.0	16.9	21.5	32.2	19.7	6.7	3.0			
	関東	379	77	78	127	67	16	14		0.98	
		100.0	20.3	20.6	33.5	17.7	4.2	3.7			
	首都圏/一都三県	1977	352	475	660	327	83	80		0.98	
		100.0	17.8	24.0	33.4	16.5	4.2	4.0			
	北陸	359	72	81	119	57	18	12		1.03	
		100.0	20.1	22.6	33.1	15.9	5.0	3.3			
	東海	776	126	170	302	130	31	17		1.00	
		100.0	16.2	21.9	38.9	16.8	4.0	2.2			
京阪神	1056	207	255	343	188	37	26		1.07		
	100.0	19.6	24.1	32.5	17.8	3.5	2.5				
中国	372	63	84	142	54	14	15		1.00		
	100.0	16.9	22.6	38.2	14.5	3.8	4.0				
四国	182	35	40	65	30	7	5		1.05		
	100.0	19.2	22.0	35.7	16.5	3.8	2.7				
九州	724	165	187	241	89	24	18		1.27		
	100.0	22.8	25.8	33.3	12.3	3.3	2.5				
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	163	182	312	145	27	24		1.05	
		100.0	19.1	21.3	36.6	17.0	3.2	2.8			
	小学生	715	139	175	251	112	24	14		1.14	
		100.0	19.4	24.5	35.1	15.7	3.4	2.0			
	中学生	401	62	105	152	61	14	7		1.09	
	100.0	15.5	26.2	37.9	15.2	3.5	1.7				
中学校卒業以上	1340	272	362	446	194	32	34		1.21		
	100.0	20.3	27.0	33.3	14.5	2.4	2.5				
同居している子どもはいない	3850	710	842	1308	651	195	144		0.95		
	100.0	18.4	21.9	34.0	16.9	5.1	3.7				
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	74	83	94	53	19	15		1.02	
		100.0	21.9	24.6	27.8	15.7	5.6	4.4			
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	87	108	130	57	12	8		1.25	
		100.0	21.6	26.9	32.3	14.2	3.0	2.0			
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	69	80	141	62	14	9		1.04	
		100.0	18.4	21.3	37.6	16.5	3.7	2.4			
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	50	63	101	43	8	5		1.12		
	100.0	18.5	23.3	37.4	15.9	3.0	1.9				
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	978	1241	1812	876	222	179		1.01		
	100.0	18.4	23.4	34.1	16.5	4.2	3.4				
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	203	152	153	49	12	15		1.62	
		100.0	34.8	26.0	26.2	8.4	2.1	2.6			
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	610	728	915	395	98	54		1.23	
		100.0	21.8	26.0	32.7	14.1	3.5	1.9			
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にするものがある	1949	280	451	729	349	80	60		0.91		
	100.0	14.4	23.1	37.4	17.9	4.1	3.1				
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	132	192	432	277	79	84		0.44		
	100.0	11.0	16.1	36.1	23.2	6.6	7.0				

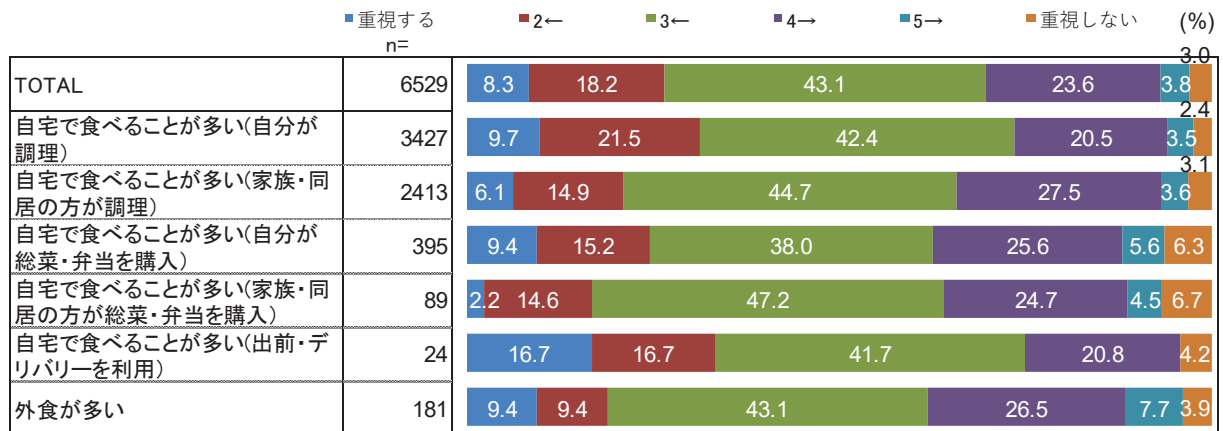
⑦ 栄養素含有量（例：ビタミン、たんぱく質、糖質、脂質の量等）

性年代別にみると、男性よりも女性において、高年層より若年層において重視する傾向がみられるが、全体的に重視度が低い。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



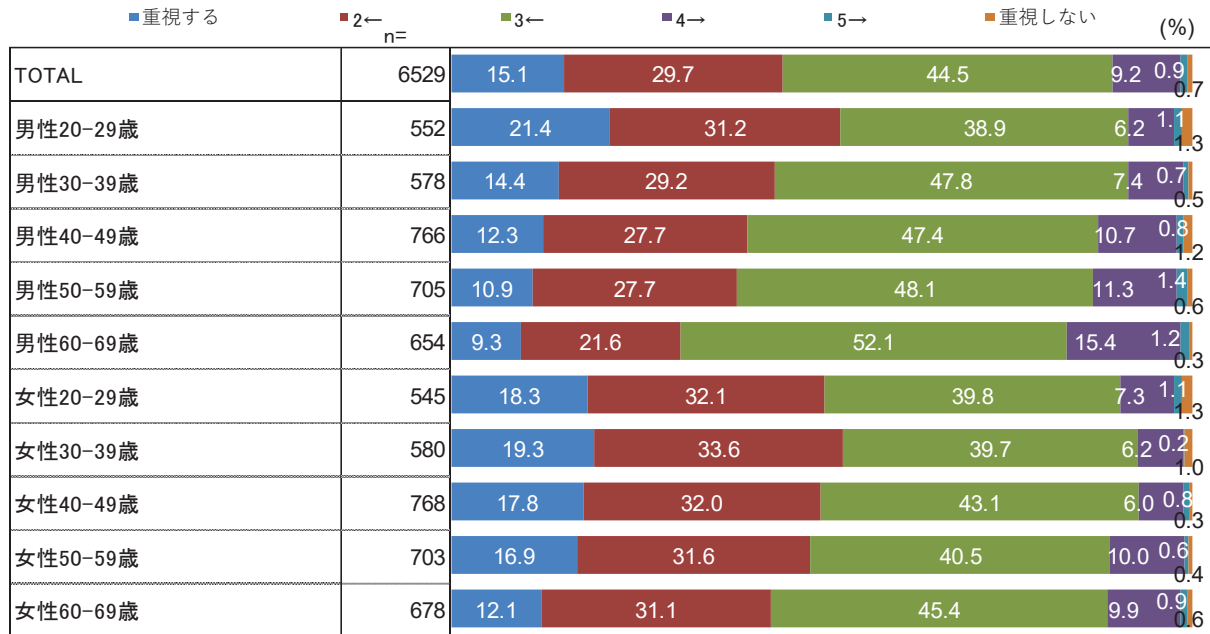
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段目	度数									
2段目	横%									
性別	TOTAL	6529	539	1190	2811	1543	248	198		0.64
	男性	3255	235	484	1428	856	135	117		0.50
性別	女性	3274	304	706	1383	687	113	81		0.78
		100.0	9.3	21.6	42.2	21.0	3.5	2.5		
年代	20-29歳	1097	116	171	391	282	72	65		0.42
		100.0	10.6	15.6	35.6	25.7	6.6	5.9		
	30-39歳	1158	91	193	508	279	46	41		0.58
		100.0	7.9	16.7	43.9	24.1	4.0	3.5		
	40-49歳	1534	98	264	670	398	62	42		0.55
		100.0	6.4	17.2	43.7	25.9	4.0	2.7		
年代	50-59歳	1408	116	266	633	319	38	36		0.72
		100.0	8.2	18.9	45.0	22.7	2.7	2.6		
	60-69歳	1332	118	296	609	265	30	14		0.89
		100.0	8.9	22.2	45.7	19.9	2.3	1.1		
	男性20-29歳	552	67	89	202	133	31	30		0.54
		100.0	12.1	16.1	36.6	24.1	5.6	5.4		
性年代	男性30-39歳	578	41	86	261	140	27	23		0.51
		100.0	7.1	14.9	45.2	24.2	4.7	4.0		
	男性40-49歳	766	37	106	323	239	32	29		0.33
		100.0	4.8	13.8	42.2	31.2	4.2	3.8		
	男性50-59歳	705	42	92	334	191	22	24		0.48
		100.0	6.0	13.0	47.4	27.1	3.1	3.4		
	男性60-69歳	654	48	111	308	153	23	11		0.68
		100.0	7.3	17.0	47.1	23.4	3.5	1.7		
	女性20-29歳	545	49	82	189	149	41	35		0.30
		100.0	9.0	15.0	34.7	27.3	7.5	6.4		
	女性30-39歳	580	50	107	247	139	19	18		0.66
		100.0	8.6	18.4	42.6	24.0	3.3	3.1		
地域	北海道	272	20	34	118	74	13	13		0.39
		100.0	7.4	12.5	43.4	27.2	4.8	4.8		
	東北	432	33	71	190	104	19	15		0.56
		100.0	7.6	16.4	44.0	24.1	4.4	3.5		
	関東	379	41	57	162	92	12	15		0.63
		100.0	10.8	15.0	42.7	24.3	3.2	4.0		
	首都圏/一都三県	1977	163	378	846	435	95	60		0.65
		100.0	8.2	19.1	42.8	22.0	4.8	3.0		
	北陸	359	32	70	145	86	10	16		0.63
		100.0	8.9	19.5	40.4	24.0	2.8	4.5		
	東海	776	68	154	320	194	25	15		0.70
		100.0	8.8	19.8	41.2	25.0	3.2	1.9		
同居子ども学齢	京阪神	1056	76	189	466	261	30	34		0.61
		100.0	7.2	17.9	44.1	24.7	2.8	3.2		
	中国	372	27	68	166	93	10	8		0.66
		100.0	7.3	18.3	44.6	25.0	2.7	2.2		
	四国	182	13	24	81	54	7	3		0.50
		100.0	7.1	13.2	44.5	29.7	3.8	1.6		
	九州	724	66	145	317	150	27	19		0.75
		100.0	9.1	20.0	43.8	20.7	3.7	2.6		
	妊娠中・乳幼児	853	75	141	384	201	31	21		0.66
		100.0	8.8	16.5	45.0	23.6	3.6	2.5		
	小学生	715	55	121	333	171	20	15		0.68
		100.0	7.7	16.9	46.6	23.9	2.8	2.1		
中学生	401	26	57	193	97	13	15		0.54	
	100.0	6.5	14.2	48.1	24.2	3.2	3.7			
中学校卒業以上	1340	96	273	573	327	44	27		0.68	
	100.0	7.2	20.4	42.8	24.4	3.3	2.0			
同居している子どもはいない	3850	337	685	1627	907	157	137		0.62	
	100.0	8.8	17.8	42.3	23.6	4.1	3.6			
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	59	57	120	80	15	7		0.83
		100.0	17.5	16.9	35.5	23.7	4.4	2.1		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	40	85	172	79	15	11		0.80
		100.0	10.0	21.1	42.8	19.7	3.7	2.7		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	34	66	161	90	13	11		0.66
		100.0	9.1	17.6	42.9	24.0	3.5	2.9		
情報収集積極度	同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	19	50	126	60	9	6		0.69
		100.0	7.0	18.5	46.7	22.2	3.3	2.2		
	あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	409	967	2298	1266	201	167		0.62
		100.0	7.7	18.2	43.3	23.9	3.8	3.1		
	自分から積極的に情報を収集している	584	154	156	188	70	9	7		1.46
		100.0	26.4	26.7	32.2	12.0	1.5	1.2		
気になったときに自分で情報を収集している	2800	225	628	1270	559	68	50		0.84	
	100.0	8.0	22.4	45.4	20.0	2.4	1.8			
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にするものがある	1949	89	290	891	538	87	54		0.44	
	100.0	4.6	14.9	45.7	27.6	4.5	2.8			
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	71	116	462	376	84	87		0.09	
	100.0	5.9	9.7	38.6	31.4	7.0	7.3			

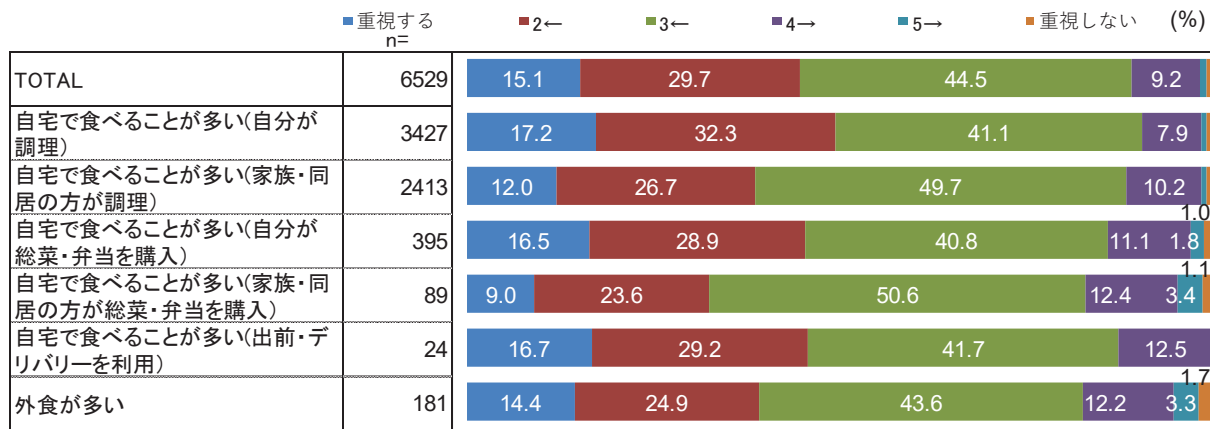
⑧ 量・大きさ

性年代別にみると、男性では高年層より若年層において重視する傾向がみられる。女性では年代による大きな差はみられない。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



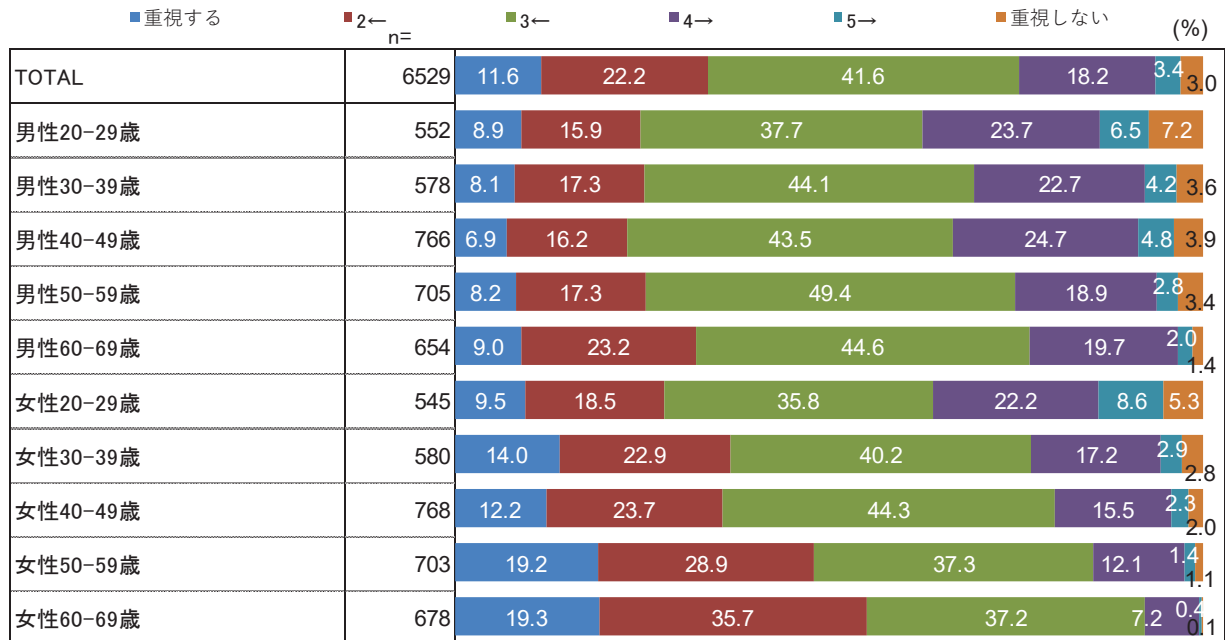
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
1段目 度数	2段目 積%	TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
	TOTAL	6529	983	1938	2905	599	57	47	1.36	
		100.0	15.1	29.7	44.5	9.2	0.9	0.7		
性別	男性	3255	433	889	1534	340	34	25	1.27	
		100.0	13.3	27.3	47.1	10.4	1.0	0.8		
性別	女性	3274	550	1049	1371	259	23	22	1.45	
		100.0	16.8	32.0	41.9	7.9	0.7	0.7		
年代	20-29歳	1097	218	347	432	74	12	14	1.49	
		100.0	19.9	31.6	39.4	6.7	1.1	1.3		
	30-39歳	1158	195	364	506	79	5	9	1.47	
		100.0	16.8	31.4	43.7	6.8	0.4	0.8		
	40-49歳	1534	231	458	694	128	12	11	1.38	
		100.0	15.1	29.9	45.2	8.3	0.8	0.7		
年代	50-59歳	1408	196	417	624	150	14	7	1.31	
		100.0	13.9	29.6	44.3	10.7	1.0	0.5		
	60-69歳	1332	143	352	649	168	14	6	1.18	
		100.0	10.7	26.4	48.7	12.6	1.1	0.5		
	性年代	男性20-29歳	552	118	172	215	34	6	7	1.53
			100.0	21.4	31.2	38.9	6.2	1.1	1.3	
男性30-39歳		578	83	169	276	43	4	3	1.39	
		100.0	14.4	29.2	47.8	7.4	0.7	0.5		
男性40-49歳		766	94	212	363	82	6	9	1.24	
		100.0	12.3	27.7	47.4	10.7	0.8	1.2		
男性50-59歳		705	77	195	339	80	10	4	1.20	
		100.0	10.9	27.7	48.1	11.3	1.4	0.6		
男性60-69歳		654	61	141	341	101	8	2	1.04	
		100.0	9.3	21.6	52.1	15.4	1.2	0.3		
性年代	女性20-29歳	545	100	175	217	40	6	7	1.46	
		100.0	18.3	32.1	39.8	7.3	1.1	1.3		
	女性30-39歳	580	112	195	230	36	1	6	1.55	
		100.0	19.3	33.6	39.7	6.2	0.2	1.0		
	女性40-49歳	768	137	246	331	46	6	2	1.52	
		100.0	17.8	32.0	43.1	6.0	0.8	0.3		
	女性50-59歳	703	119	222	285	70	4	3	1.42	
		100.0	16.9	31.6	40.5	10.0	0.6	0.4		
	女性60-69歳	678	82	211	308	67	6	4	1.31	
		100.0	12.1	31.1	45.4	9.9	0.9	0.6		
地域	北海道	272	43	81	122	20	3	3	1.39	
		100.0	15.8	29.8	44.9	7.4	1.1	1.1		
	東北	432	63	135	181	46	4	3	1.34	
		100.0	14.6	31.3	41.9	10.6	0.9	0.7		
	関東	379	60	112	164	33	5	5	1.35	
		100.0	15.8	29.6	43.3	8.7	1.3	1.3		
	首都圏/一都三県	1977	298	595	877	173	22	12	1.37	
		100.0	15.1	30.1	44.4	8.8	1.1	0.6		
	北陸	359	57	102	161	32	4	3	1.36	
		100.0	15.9	28.4	44.8	8.9	1.1	0.8		
地域	東海	776	124	222	354	69	2	5	1.39	
		100.0	16.0	28.6	45.6	8.9	0.3	0.6		
地域	京阪神	1056	147	321	473	100	6	9	1.34	
		100.0	13.9	30.4	44.8	9.5	0.6	0.9		
地域	中国	372	52	113	156	43	3	5	1.27	
		100.0	14.0	30.4	41.9	11.6	0.8	1.3		
地域	四国	182	24	46	93	18	0	1	1.30	
		100.0	13.2	25.3	51.1	9.9	0.0	0.5		
地域	九州	724	115	211	324	65	8	1	1.39	
		100.0	15.9	29.1	44.8	9.0	1.1	0.1		
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	145	282	360	56	5	5	1.50	
		100.0	17.0	33.1	42.2	6.6	0.6	0.6		
	小学生	715	110	240	310	48	3	4	1.47	
		100.0	15.4	33.6	43.4	6.7	0.4	0.6		
	中学生	401	64	124	178	30	2	3	1.43	
		100.0	16.0	30.9	44.4	7.5	0.5	0.7		
同居子ども学齢	中学校卒業以上	1340	185	391	620	127	9	8	1.33	
		100.0	13.8	29.2	46.3	9.5	0.7	0.6		
同居子ども学齢	同居している子どもはいない	3850	585	1107	1713	376	39	30	1.33	
		100.0	15.2	28.8	44.5	9.8	1.0	0.8		
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	79	89	131	36	2	1	1.49	
		100.0	23.4	26.3	38.8	10.7	0.6	0.3		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	64	127	173	32	5	1	1.43	
		100.0	15.9	31.6	43.0	8.0	1.2	0.2		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	52	130	157	34	0	2	1.42	
		100.0	13.9	34.7	41.9	9.1	0.0	0.5		
食物アレルギー保有者	同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	45	82	115	26	0	2	1.41	
		100.0	16.7	30.4	42.6	9.6	0.0	0.7		
食物アレルギー保有者	あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいな	5308	776	1564	2395	482	50	41	1.35	
		100.0	14.6	29.5	45.1	9.1	0.9	0.8		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	151	176	211	39	2	5	1.64	
		100.0	25.9	30.1	36.1	6.7	0.3	0.9		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	406	892	1207	248	29	18	1.37	
		100.0	14.5	31.9	43.1	8.9	1.0	0.6		
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にするこがある	1949	248	589	901	189	12	10	1.32	
		100.0	12.7	30.2	46.2	9.7	0.6	0.5		
情報収集積極度	食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	178	281	586	123	14	14	1.24	
		100.0	14.9	23.5	49.0	10.3	1.2	1.2		

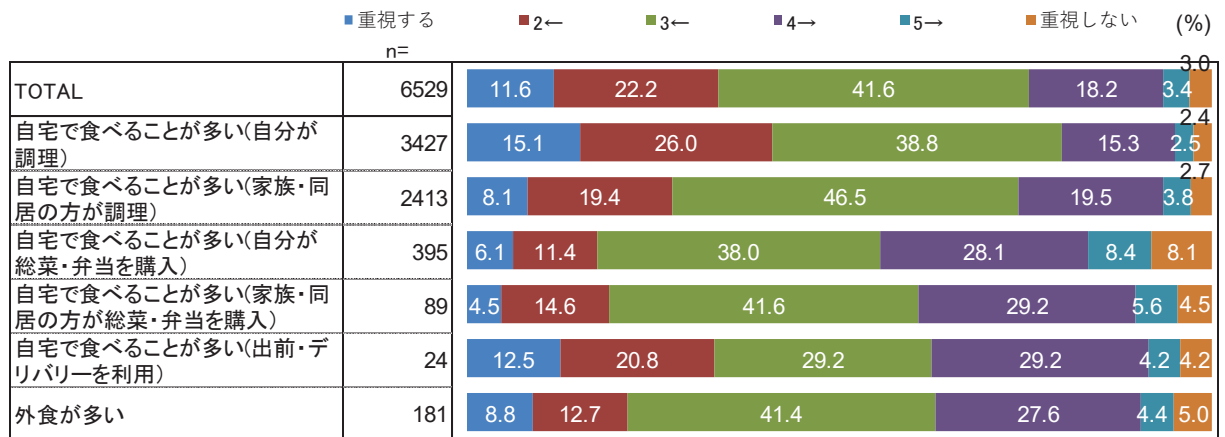
⑨ 季節感・旬

性年代別にみると、男性よりも女性のほうが重視する傾向がみられる。女性では、若年層より高年層のほうが重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



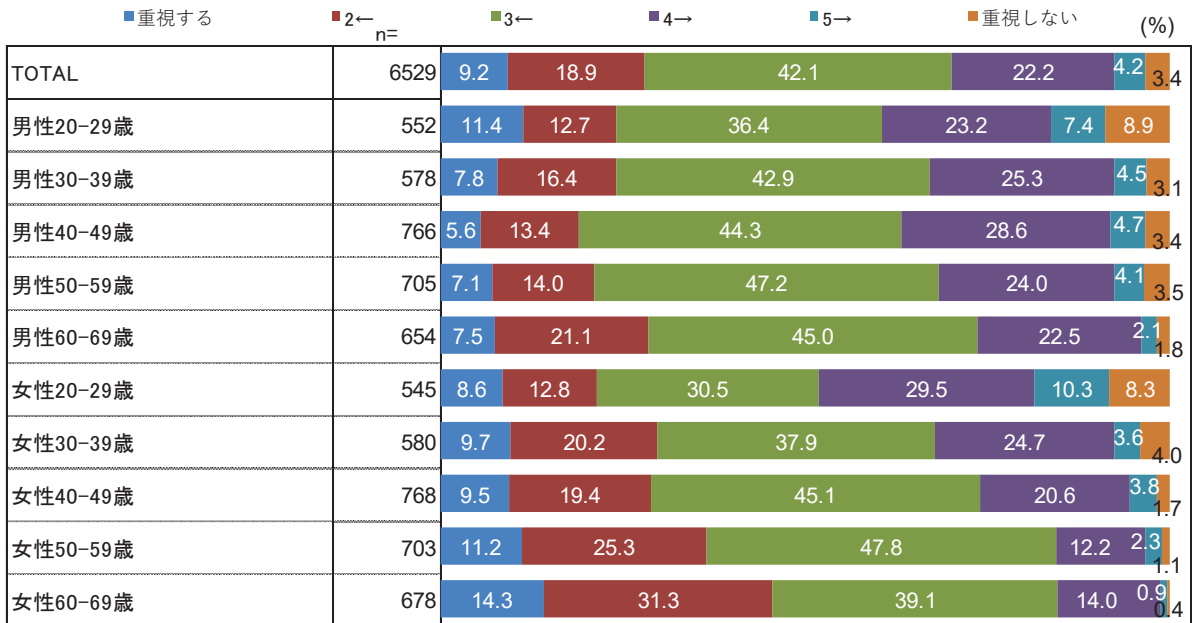
【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段階目	度数									
2段階目	横%									
	TOTAL	6529	759	1447	2718	1187	225	193	0.87	
		100.0	11.6	22.2	41.6	18.2	3.4	3.0		
性別	男性	3255	266	586	1436	713	130	124	0.63	
		100.0	8.2	18.0	44.1	21.9	4.0	3.8		
性別	女性	3274	493	861	1282	474	95	69	1.10	
		100.0	15.1	26.3	39.2	14.5	2.9	2.1		
年代	20-29歳	1097	101	189	403	252	83	69	0.42	
		100.0	9.2	17.2	36.7	23.0	7.6	6.3		
	30-39歳	1158	128	233	488	231	41	37	0.79	
		100.0	11.1	20.1	42.1	19.9	3.5	3.2		
	40-49歳	1534	147	306	673	308	55	45	0.76	
		100.0	9.6	19.9	43.9	20.1	3.6	2.9		
年代	50-59歳	1408	193	325	610	218	30	32	1.04	
		100.0	13.7	23.1	43.3	15.5	2.1	2.3		
	60-69歳	1332	190	394	544	178	16	10	1.25	
		100.0	14.3	29.6	40.8	13.4	1.2	0.8		
	性年代	男性20-29歳	552	49	88	208	131	36	40	0.38
			100.0	8.9	15.9	37.7	23.7	6.5	7.2	
男性30-39歳		578	47	100	255	131	24	21	0.61	
		100.0	8.1	17.3	44.1	22.7	4.2	3.6		
男性40-49歳		766	53	124	333	189	37	30	0.51	
		100.0	6.9	16.2	43.5	24.7	4.8	3.9		
男性50-59歳		705	58	122	348	133	20	24	0.74	
		100.0	8.2	17.3	49.4	18.9	2.8	3.4		
男性60-69歳		654	59	152	292	129	13	9	0.90	
		100.0	9.0	23.2	44.6	19.7	2.0	1.4		
女性20-29歳		545	52	101	195	121	47	29	0.46	
		100.0	9.5	18.5	35.8	22.2	8.6	5.3		
地域	北海道	272	28	47	116	59	6	16	0.64	
		100.0	10.3	17.3	42.6	21.7	2.2	5.9		
	東北	432	51	112	163	80	16	10	0.92	
		100.0	11.8	25.9	37.7	18.5	3.7	2.3		
	関東	379	50	75	159	63	13	19	0.83	
		100.0	13.2	19.8	42.0	16.6	3.4	5.0		
	首都圏/一都三県	1977	240	439	822	341	74	61	0.88	
		100.0	12.1	22.2	41.6	17.2	3.7	3.1		
	北陸	359	46	82	152	60	6	13	0.96	
		100.0	12.8	22.8	42.3	16.7	1.7	3.6		
	東海	776	94	173	322	143	28	16	0.91	
		100.0	12.1	22.3	41.5	18.4	3.6	2.1		
京阪神	1056	107	241	435	203	41	29	0.82		
	100.0	10.1	22.8	41.2	19.2	3.9	2.7			
中国	372	35	70	177	67	14	9	0.81		
	100.0	9.4	18.8	47.6	18.0	3.8	2.4			
四国	182	21	29	79	44	5	4	0.74		
	100.0	11.5	15.9	43.4	24.2	2.7	2.2			
九州	724	87	179	293	127	22	16	0.96		
	100.0	12.0	24.7	40.5	17.5	3.0	2.2			
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	101	209	344	161	17	21	0.95	
		100.0	11.8	24.5	40.3	18.9	2.0	2.5		
	小学生	715	84	148	322	125	18	18	0.92	
		100.0	11.7	20.7	45.0	17.5	2.5	2.5		
	中学生	401	40	82	185	62	16	16	0.82	
	100.0	10.0	20.4	46.1	15.5	4.0	4.0			
中学校卒業以上	1340	170	320	589	204	29	28	1.04		
	100.0	12.7	23.9	44.0	15.2	2.2	2.1			
同居している子どもはいない	3850	445	811	1563	742	161	128	0.80		
	100.0	11.6	21.1	40.6	19.3	4.2	3.3			
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	64	64	123	62	15	10	0.95	
		100.0	18.9	18.9	36.4	18.3	4.4	3.0		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	41	88	171	70	18	14	0.80	
		100.0	10.2	21.9	42.5	17.4	4.5	3.5		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	53	85	154	63	14	6	1.00	
		100.0	14.1	22.7	41.1	16.8	3.7	1.6		
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	26	61	121	52	5	5	0.90		
	100.0	9.6	22.6	44.8	19.3	1.9	1.9			
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	600	1184	2221	963	179	161	0.86		
	100.0	11.3	22.3	41.8	18.1	3.4	3.0			
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	156	170	171	54	21	12	1.45	
		100.0	26.7	29.1	29.3	9.2	3.6	2.1		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	348	712	1199	411	79	51	1.05	
		100.0	12.4	25.4	42.8	14.7	2.8	1.8		
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にするがある	1949	171	416	845	410	58	49	0.78		
	100.0	8.8	21.3	43.4	21.0	3.0	2.5			
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	84	149	503	312	67	81	0.30		
	100.0	7.0	12.5	42.1	26.1	5.6	6.8			

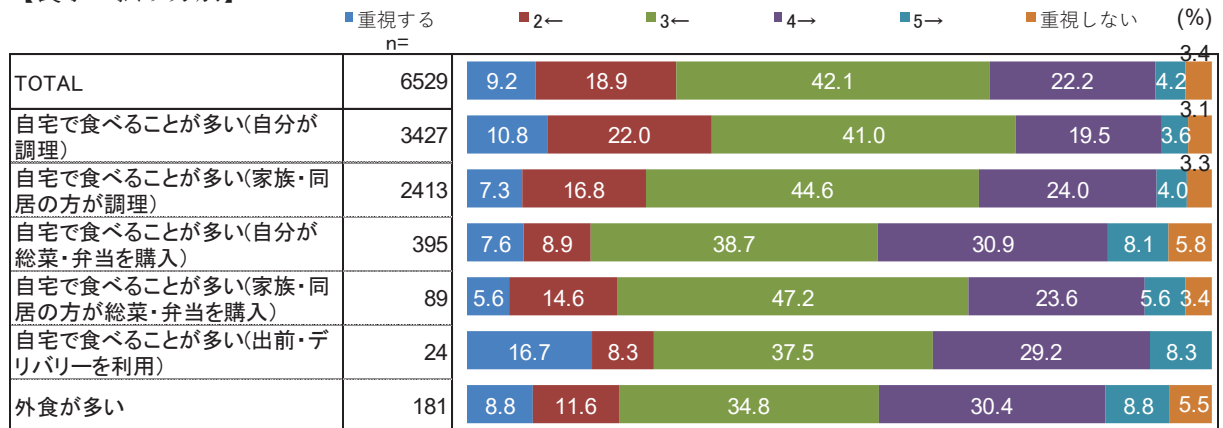
⑩ 生産者・食品メーカー

性年代別にみると、男性よりも女性のほうが重視する傾向がみられる。全体的に重視度が低い、「女性 60-69 歳」は他の性年代よりも重視する傾向がみられる。

【性年代別】



【食事の摂り方別】



【性・年代別、地域別、同居子ども学齢別、食物アレルギー保有者別、Q8 情報収集積極度別】

		0	1	2	3	4	5	6	7	
		TOTAL	重視する	2←	3←	4→	5→	重視しない	平均値	
1段目	度数									
2段目	横%									
	TOTAL	6529	602	1231	2748	1452	274	222	0.67	
性別	男性	3255	250	505	1415	809	146	130	0.52	
	女性	3274	352	726	1333	643	128	92	0.81	
年代	20-29歳	1097	110	140	367	289	97	94	0.19	
		100.0	10.0	12.8	33.5	26.3	8.8	8.6		
	30-39歳	1158	101	212	468	289	47	41	0.59	
		100.0	8.7	18.3	40.4	25.0	4.1	3.5		
	40-49歳	1534	116	252	685	377	65	39	0.60	
		100.0	7.6	16.4	44.7	24.6	4.2	2.5		
年代	50-59歳	1408	129	277	669	255	45	33	0.83	
		100.0	9.2	19.7	47.5	18.1	3.2	2.3		
	60-69歳	1332	146	350	559	242	20	15	1.03	
		100.0	11.0	26.3	42.0	18.2	1.5	1.1		
	性年代	男性20-29歳	552	63	70	201	128	41	49	0.31
			100.0	11.4	12.7	36.4	23.2	7.4	8.9	
男性30-39歳		578	45	95	248	146	26	18	0.56	
		100.0	7.8	16.4	42.9	25.3	4.5	3.1		
男性40-49歳		766	43	103	339	219	36	26	0.40	
		100.0	5.6	13.4	44.3	28.6	4.7	3.4		
男性50-59歳		705	50	99	333	169	29	25	0.54	
		100.0	7.1	14.0	47.2	24.0	4.1	3.5		
男性60-69歳		654	49	138	294	147	14	12	0.77	
		100.0	7.5	21.1	45.0	22.5	2.1	1.8		
女性20-29歳		545	47	70	166	161	56	45	0.07	
		100.0	8.6	12.8	30.5	29.5	10.3	8.3		
地域	北海道	272	22	45	112	67	9	17	0.49	
		100.0	8.1	16.5	41.2	24.6	3.3	6.3		
	東北	432	32	84	172	110	19	15	0.56	
		100.0	7.4	19.4	39.8	25.5	4.4	3.5		
	関東	379	34	75	160	78	15	17	0.67	
		100.0	9.0	19.8	42.2	20.6	4.0	4.5		
	首都圏/一都三県	1977	187	377	817	432	97	67	0.66	
		100.0	9.5	19.1	41.3	21.9	4.9	3.4		
	北陸	359	34	70	148	82	12	13	0.68	
		100.0	9.5	19.5	41.2	22.8	3.3	3.6		
	東海	776	78	139	326	184	28	21	0.69	
		100.0	10.1	17.9	42.0	23.7	3.6	2.7		
京阪神	1056	89	209	447	235	39	37	0.67		
	100.0	8.4	19.8	42.3	22.3	3.7	3.5			
中国	372	30	64	182	66	17	13	0.70		
	100.0	8.1	17.2	48.9	17.7	4.6	3.5			
四国	182	16	23	84	45	7	7	0.54		
	100.0	8.8	12.6	46.2	24.7	3.8	3.8			
九州	724	80	145	300	153	31	15	0.79		
	100.0	11.0	20.0	41.4	21.1	4.3	2.1			
同居子ども学齢	妊娠中・乳幼児	853	83	156	345	206	35	28	0.64	
		100.0	9.7	18.3	40.4	24.2	4.1	3.3		
	小学生	715	70	133	294	173	27	18	0.68	
		100.0	9.8	18.6	41.1	24.2	3.8	2.5		
	中学生	401	28	67	198	80	15	13	0.67	
		100.0	7.0	16.7	49.4	20.0	3.7	3.2		
中学校卒業以上	1340	117	284	594	285	33	27	0.81		
	100.0	8.7	21.2	44.3	21.3	2.5	2.0			
同居している子どもはいない	3850	368	693	1589	859	185	156	0.62		
	100.0	9.6	18.0	41.3	22.3	4.8	4.1			
食物アレルギー保有者	あなた自身(医師からの診断を受けている)	338	49	61	125	73	19	11	0.74	
		100.0	14.5	18.0	37.0	21.6	5.6	3.3		
	あなた自身(医師からの診断を受けていない)	402	41	83	166	87	15	10	0.77	
		100.0	10.2	20.6	41.3	21.6	3.7	2.5		
	同居の方(医師からの診断を受けている)	375	35	66	157	86	22	9	0.63	
		100.0	9.3	17.6	41.9	22.9	5.9	2.4		
同居の方(医師からの診断を受けていない)	270	14	57	130	55	6	8	0.72		
	100.0	5.2	21.1	48.1	20.4	2.2	3.0			
あなた自身や同居者に食物アレルギーをお持ちの方はいない	5308	481	998	2241	1181	220	187	0.66		
	100.0	9.1	18.8	42.2	22.2	4.1	3.5			
情報収集積極度	自分から積極的に情報を収集している	584	148	155	178	74	17	12	1.35	
		100.0	25.3	26.5	30.5	12.7	2.9	2.1		
	気になったときに自分で情報を収集している	2800	256	638	1235	522	94	55	0.86	
		100.0	9.1	22.8	44.1	18.6	3.4	2.0		
自分から積極的に情報を収集しないが、メディアやSNSなどで目にする可能性がある	1949	123	309	872	502	86	57	0.52		
	100.0	6.3	15.9	44.7	25.8	4.4	2.9			
食品の安全性に関する情報には普段接する機会がない	1196	75	129	463	354	77	98	0.12		
	100.0	6.3	10.8	38.7	29.6	6.4	8.2			